

総合計画

第1期基本計画の総括

(平成8年度～平成17年度)

登別市

目 次

はじめに

I 施策の展開結果

第1章	やさしさと共生するまち	1
第2章	自然とともに暮らすまち	5
第3章	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	8
第4章	調和の中でふるさとを演出するまち	11
第5章	豊かな個性と人間性を育むまち	13
第6章	担いあうまちづくり	16

II 土地利用計画

18

III 総合評価

20

(1) 総括表

21

(2) 章別点検概要

第1章	やさしさと共生するまち	25
第2章	自然とともに暮らすまち	30
第3章	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち	34
第4章	調和の中でふるさとを演出するまち	39
第5章	豊かな個性と人間性を育むまち	43
第6章	担いあうまちづくり	49

(3) 未実施事業一覧

51

はじめに

登別市第4次総合計画第1期基本計画の策定時は、本市を取り巻く社会環境がバブルの崩壊による平成不況の時代へと変化する中、高齢化、少子化、国際化、高度情報化が急速な進展を見せ、人々の生活意識はモノの充足から心の充足を求めように変化し多様化がすすむなど、まちづくりの視点にも大きな変容が求められていた。

このことを踏まえ、基本計画では、時代の潮流や市民ニーズの動向を的確に把握しながら登別市の可能性を探り、あるべきまちの姿を思い描き、その実現のために市民一人ひとりがまちづくりにまい進できることを目指し、「民間活力の活用」「計画的で効率的な行財政の推進」「対話と共感による市政の推進」を計画推進の柱と定めた。

自治体を取り巻く環境の変化は激しく、2000年（平成12年）4月、地方分権一括法の施行により地方分権時代の本格的な幕が開くとともに、三位一体改革による国と地方の関係の見直しが始まり、地方が決定すべきことは国ではなく地方自治体自らが決定するという真の意味での地方分権を目指す動きが始まった。社会環境においては、さまざまな分野での高度情報化が急速に進展し、企業のみならず学校や一般家庭へのインターネットの急速な普及、携帯電話の所持率の増加など、人々の情報に対する需要が急激に増大した。

しかしながら、一方では10年間を経過しても、大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会システムや浪費型のライフスタイルに変化の兆しは見え、廃棄物問題などの地域環境問題、さらに地球温暖化などの地球環境問題など、人類の生存基盤までも脅かし続けている。また、策定時にあった日本経済の先行きに対する不透明感や不安感は、国全体としては若干改善の兆しを見せてはいるものの、本市を含め北海道全体を取り巻く景気の先行きは、引き続き楽観が許されない状況にある。

10年間を行政運営するにあたり、本市では基本計画に基づく3回の実施計画を策定した。実施計画では、計画期間における具体的な事業等を明らかにするとともに、社会経済情勢や市民ニーズ、財政状況などの変化に適切に対応するため、毎年度の事業展開を点検・見直すなど、登別市総合計画・基本構想及び第1期基本計画の着実な推進を図ってきた。

主な取組としては、「市制施行30周年・2000年記念イベント」に代表される様々なまちづくりへの市民参画の促進、男女共同参画社会づくりの推進、子育て・次世代育成支援の取組の拡大、幼保一元化の実施、介護保険制度の導入、健康づくりのための市民プールの建設、公共施設のバリアフリー化の推進、環境保全のための環境基本条例の制定や環境にやさしいクリンクルセンターの建設、自然とのふれあいを育むネイチャーセンターの建設、情報にふれるための地域情報センターの開設、都市計画マスタープランの策定、産業・経済の活性化のための産業クラスター形成計画の策定、中国広州市との友好交流促進都市盟約の締結などである。

I 施策の展開結果

平成8年度から平成17年度までの10年間に行った施策の展開結果については次のとおりです。

第1章 やさしさと共生するまち

第1節 共に支え合う福祉の基盤づくり

【施策の展開結果】

1 ノーマライゼーションの普及

- ・ ノーマライゼーション理念の一層の普及を図るため、市民が障害者関係団体と直接ふれ合うことのできる「ふれあい広場」の開催や保育所・幼稚園・学校における世代間交流の取組、地域における「地域交流プラザ」「子育てサロン」の開催により、相互理解の場を広げることができた。
- ・ 広報のぼりべつやホームページにより福祉情報を提供するほか、福祉情報冊子「福祉のしおり」「福祉マップ」の作成配布を行い、啓発活動を行なうとともに、市民を対象とした「ボランティア体験」「ボランティア講座」「ボランティアアドバイザー研修」、学校や児童・生徒を対象とした「ボランティア指定校」「ヤングボランティアフォーラム」、地域を対象とした「住民福祉活動研修会」の実施により、福祉についての学習機会の拡大が図られた。

2 福祉推進体制の強化

- ・ おもいやり基金は、当初、果実運用を目的として積立てをしてきたが、低金利により福祉活動への支援は一般財源による対応が続いたため、平成14年度から果実運用型から原資を消費できる仕組みに変更し福祉活動財源の確保に努めた。
- ・ 介護保険制度や障害者支援制度の導入を行うとともに、福祉サービスを提供する専門員の民間による養成が進み、地域福祉活動の人材は社会福祉協議会の「ボランティアセンター」が育成を進め福祉マンパワーの確保を図った。
- ・ 社会福祉協議会の機能充実を図るため人員配置等に財政支援を行なったことにより、「小地域ネットワーク事業」の拡大や関係機関との連携強化につながった。

3 地域福祉活動の推進

- ・ ボランティアセンターへ財政的支援を行い、ボランティアアドバイザーの養成と、アドバイザーの力により、個々のボランティアや団体の育成に成果が見られた。
- ・ 「小地域ネットワーク」「愛の一声運動」「緊急通報システム」など民生委員児童委員との連携により、福祉ニーズに応じた対応が行なわれたが、地域福祉情報システムの確立は、個人情報保護の観点から実現は困難な状況になっている。
- ・ 鉄南ふれあいセンターや若草つどいセンターは、コミュニティ施設として多くの福祉団体等が利用し、地域福祉活動の場としての機能を果たした。

第2節 「輝いて、生涯現役」のびやかな人生が息づくまちをつくる

【施策の展開結果】

1 活力ある高齢社会への基盤づくり

- ・ 高齢者が要介護状態に陥ることなく、健康で自立した生活を送れるように、高齢者（65歳以上）の方を中心に訪問指導、健康教育、健康相談、機能訓練事業を推進し、きめ細やかな健康管理指導に努めた。
- ・ 老人クラブやシルバー人材センターに助成し、生きがいの創出を図るとともに経験や技能を生かして働く場の提供に努めた。また、「ときめき大学」において、高齢者への生きがい教育を実施した。
- ・ 65歳以上70歳未満の独居老人、老人夫婦世帯を対象に医療費の一部助成を行なった。
- ・ 無年金者の解消を図るため、国民年金の加入奨励を行うとともに年金制度の周知に努めた。

2 やすらぎに満ちた長寿社会づくり

- ・ 介護保険制度の施行により、介護保険の在宅サービスの充実や施設サービスの整備が図られた。
- ・ 在宅介護支援センターを開設し相談体制の確立と介護者家族の負担軽減が図られた。

第3節 「輝いて、生涯健康」一人ひとりが健康を守り育てるまちをつくる

【施策の展開結果】

1 生涯健康づくりの推進

- ・ 市民一人ひとりが、主体的に健康づくりに取り組むことを支援するため“健康のぼりべつ21”を策定した。
- ・ 健康講演会や健康まつり等を開催し、健康づくりに対する啓発を行なうとともに健康通信の発行等により自己管理意識の高揚を図った。
- ・ 人間ドックや脳ドックの健康診査費用の一部助成を行なうとともにヘルシークッキング教室やヘルスアップ教室の開催により、健康づくり活動の充実に努めた。

2 保健予防活動の充実

- ・ フッ化物塗布や口腔衛生指導による乳幼児の虫歯予防など歯科保健の充実を図るとともに乳幼児健康診査、保健士・栄養士の家庭訪問による母と子の健康づくりを支援した。
- ・ 児童生徒の健康診断や中高年・高齢者の健康教育、健康相談など生涯各期における保健予防活動の充実に努めた。
- ・ 疾病の早期発見、早期治療を図るため各種検診の充実に努めた。

3 地域医療体制の整備

- ・ 眼科・耳鼻咽喉科・脳神経科・小児科の開設により医療環境が整備充実されるとともに、初期医療から高度医療までの医療サービス提供体制の整備が図られ

た。

4 救急医療体制の整備

- ・ 休日夜間における急病者の医療を確保するため、関係機関との連携により初期救急医療体制の充実が図られた。
- ・ 病院群輪番制による二次救急医療体制が確保された。
- ・ 救急救命士の養成や高規格救急車の導入を図るとともに、救急法や応急手当の講習会の実施により、救急に関する意識の普及、啓発に努めた。

第4節 やさしさに満ちた福祉社会を築く

【施策の展開結果】

1 心の通い合うあたたかい障害者（児）福祉の推進

- ・ 障害者の住宅や公共施設のバリアフリー化について、障害者福祉計画を策定するとともに数値目標を定め、その達成に努めた。
- ・ 障害の発生予防と早期発見を進めるため、乳幼児の健康診査受診率の向上を図った。
- ・ のぞみ園や言葉の教室において、療育指導・社会生活適応訓練を実施するとともに障害児地域療育推進協議会を設置し、関係機関の連携による療育体制の充実強化を図った。
- ・ 通所授産施設や共同作業所の運営支援を通して、障害者の社会参加の促進と自立支援に努めた。
- ・ 障害者に対する日常生活の支援を図るとともに、スポーツ大会への支援や障害者団体に対する助成により、障害者の社会参加活動の促進に努めた。

2 自立した暮らしへの支援

- ・ 生活困窮者に対して、ケースワーカーと民生委員児童委員との連携による生活支援を行い、生活困窮者の生活安定を図るとともに、社会福祉協議会を通して、低所得者への応急生活資金や生活福祉資金の貸付を行い、低所得者の生活安定を図った。
- ・ 母子家庭等の支援としては母子自立支援員を配置し、母子家庭等の自立に必要な指導を行い福祉の向上を図るとともに、母子家庭の母に対して、自立支援教育訓練等の事業を実施することにより、職業能力の向上や雇用の安定を図った。

第5節 安心して子どもを生み、健やかに育つ環境をつくる

【施策の展開結果】

1 子育て支援総合計画の策定と推進

- ・ 子育て支援の基本的方向とその施策を示した、「次世代育成支援行動計画書“子ども未来プラン21”」を策定した。

2 地域で担う子育て支援

- ・ 乳幼児に対する医療費助成の拡充や子育て支援センターを開設し、育児相談、子育て講座等の実施により家庭での子育ての支援の充実が図られた。

- ・ 延長保育、休日保育、乳児保育、障害児保育事業など利用者の生活実態と意向に配慮した支援体制の充実を図るとともに、病院内保育や事業所内保育など民間保育サービスの育成に努めた。
- ・ 放課後児童クラブの育成や児童館活動の充実など、放課後児童対策の充実を図った。
- ・ これまでの幼稚園・保育所という垣根を乗り越えた「幼保一元化」事業を推進し、幼児教育・幼児保育の充実を図った。
- ・ 乳幼児の健康増進と健やかな療育のため、乳幼児に対する医療費助成の対象年齢を就学前まで拡充を図った。
- ・ 子育て支援センターを開設し、育児相談、あそびの広場、育児サークルの育成、子育て講座など総合的な子育て相談体制の整備を図った。

第6節 女性も共に参画する地域社会をつくる

【施策の展開結果】

1 男女平等の条件づくり

- ・ 「登別市男女参画基本計画」を策定するとともに“登別市男女共同参画社会づくり推進会議”を設置し基本計画の推進に努めた。
- ・ 講演会の開催や情報誌の発行等により、男女平等についての関心や理解を深めるとともに民間シェルターへ助成を行いDV被害者の保護に努めた。
- ・ 登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はあもにいプラン21）ダイジェスト版を各事業所に配付し、女性の就労条件の整備についての啓発に努めるとともに、結婚や出産により離職した女性を対象に講座を開催し再就職のための支援を行った。

2 様々な分野への女性の参画促進

- ・ 審議会等の委員への女性構成割合について数値目標を設定し、女性登用の推進に努めた。
- ・ 女性の社会参画及び自主的な活動を促進するため、女性活動団体への支援やリーダーの育成に努めた。

3 女性の社会参画を支える福祉の充実と母性の尊重

- ・ 母性の尊重と健康増進のため、検診機会の少ない女性を対象に健康診査や骨密度検査を実施して、病気の予防と早期発見を図った。
- ・ 健康への関心が高まっており、受診者は今後増えていくと思われる。女性の健康増進は母子保健・老人保健事業で取り組んでおり、健康の保持・増進に努めた。

第2章 自然とともに暮らすまち

第1節 自然を保全し、活用し、創造しながらうるおいのある都市空間をつくる

【施策の展開結果】

1 エコアップ運動の推進

- ・ 「登別市環境基本条例」を制定するとともに「登別市環境基本計画」を策定し、総合的かつ計画的な環境保全活動の推進を図った。
- ・ 環境セミナーや環境パネル展、リサイクルまつりの開催と環境家計簿の活用などを通して環境保全に関する啓発に努めた。
- ・ 子ども自然教室や自然観察会、探鳥会などの開催や定期的な動植物調査を行い、自然環境の保護に関する理解を深めた。
- ・ 市民組織と連携のもと、ネイチャーガイドやボランティアリーダーの養成講座を開催し、自然環境学習に関する指導者の養成を図った。

2 人と自然のふれあい拠点の形成

- ・ 自然に親しむ拠点施設として宿泊研修機能を備えた、ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」の整備を行った。
- ・ 多様な生物の生息空間であるキウシト湿原の保全を図るため、用地の買収を進めるとともに、水や緑など自然を生かした亀田記念公園の整備を図った。
- ・ 自然環境保全を含む登別市全体に関わる目標方針を示す「登別市都市計画マスタープラン」「登別市景観形成基本計画」「登別市みどりの基本計画」を策定した。

第2節 美しく、清らかな環境の中で、自然にやさしい生き方が見えるまちをつくる

【施策の展開結果】

1 リサイクル都市の建設と快適な生活環境の保全

- ・ 一般廃棄物処理基本計画の見直しを行い、市民・事業者・行政が一体となって取り組んでいく「ごみ減量化行動指針」により、ごみ減量とリサイクル活動の実践活動に努めた。
- ・ クリックルセンター、廃棄物管理型最終処分場を建設し、ごみや下水道汚泥について適正な処理体制が確立された。
- ・ 河川の水質調査や自動車の交通騒音調査、大気中の有害汚染物質調査などを実施し生活環境の保全に努めた。
- ・ 「不法投棄・ポイ捨て及びペットのふんの放置防止条例」を制定し、地域環境の美化運動を推進するとともに、廃棄物の不法投棄防止に努めた。
- ・ 生活排水処理基本計画に基づき、浄化槽で処理する個別排水処理施設整備事業を推進した。

2 下水道事業の促進

- ・ 生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため積極的に公共下水道事業を推進した。16年度末普及率：84.0%、16年度末水洗化率：73.4%

3 火葬場・霊園の整備

- ・ 老朽化した火葬場に替え、近代的でダイオキシン類対策など環境にも配慮した葬斎場を新設した。
- ・ 墓地需要に応えるため、新たな富浦墓地を造成するとともに、既設墓地の環境整備に努めた。

第3節 安全で安心して暮らせるまちをつくる

【施策の展開結果】

1 災害に強いまちづくり

- ・ 防災関係機関等の連携により総合的な防災体制の整備と防災活動の充実が図られた。
- ・ 広域的な相互支援体制の整備と医療救護体制を構築した。
- ・ 町内会による自主防災組織の育成を図るとともに防災協力員の活動強化に努めた。
- ・ 防災総合訓練等を通じて、市民の防災意識の高揚と災害時に備えた連携強化を図った。
- ・ 大雨洪水、地震、津波、火山噴火を想定した防災マップ（ハザードマップ）作成に着手した。
- ・ 衛生通信設備の設置により、災害時における通信体制の整備が図られた。

2 消防・救急体制の整備

- ・ 複雑多様化する災害や救急・救助業務などに対応するため、はしご付消防ポンプ自動車の新規導入をはじめ、老朽化した消防・救急車両の更新やそれに対応した資機材の整備を図った。
- ・ また、職団員の防火衣を更新し、軽量化及び災害時の安全確保と効率化を図った。
- ・ 救急救命士の計画的な養成を図り、適正に配置するとともに市民を対象とした応急手当講習会を開催し、正しい知識と技術普及を進め救命率の向上に努めた。
- ・ 水利不足地域の解消を図るため、計画的に消火栓や防火水槽を設置するとともに、災害時に地下水を活用できる大容量防火井戸の整備を図った。

3 犯罪のないまちづくり

- ・ 警察や各町内会との連携により、社会を明るくする運動や暴力追放運動など犯罪の未然防止活動を行うとともに防犯灯、街路灯の設置など防犯施設の整備を図った。
- ・ 新生交番の設置により治安体制の拡充強化が図られた。

4 交通安全対策の充実

- ・ 交通事故防止のため、カーブミラーの設置や通学路等への歩道設置、歩行者が安全に通行できるよう段差の解消や点字ブロックの設置等、交通安全施設の整備に努めた。
- ・ 交通安全協会との連携により、交通安全思想の普及と交通安全意識の啓発に努めた。

5 安全な消費生活の確保

- ・ 市民の日常生活における消費者の権利を守るため、知識の普及啓発及び消費生活相談、消費生活モニターによる価格動向調査、商品試買量調査等を実施し消費生活情報の収集と提供に努めた。
- ・ 消費生活の安定と向上を図るため、各種の情報収集や提供に努めるとともに、消費者被害や苦情処理のための消費生活相談の充実に努めた。

6 心配ごと、困りごと相談の充実

- ・ 人権擁護委員による特設人権、困りごと相談所の開設や札幌弁護士会室蘭支部による無料法律相談を実施し、市民の心配ごと、困りごと相談の充実に努めた。

第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち

第1節 地場産業の複合化を図り、豊かな資源を力に変える

【施策の展開結果】

1 市内産業のネットワークづくり

- ・ 基幹産業である観光を軸に、登別型の産業構造の形成を目指した民間主導型の登別市産業クラスター形成協議会を設立し、さまざまなビジネスモデルの検討を行い、将来の事業化へ向けた取組ができるシステムの構築を図った。

2 産業技術力の高次化

- ・ 産学官の連携を図るとともに、室蘭テクノセンターや地域共同研究開発センターを活用し、技術開発や製品開発等における共同研究や技術交流をすすめた。
- ・ 地場の技術、製品開発力の複合化を図るため異業種グループの結成を促すなど活発な異業種交流の環境づくりをすすめた。
- ・ 他地域の異業種交流グループとの交流を促進した。
- ・ 異業種交流団体による共同研究や新技術、新製品の開発プロジェクト、新規市場開拓などを支援した。

3 産業を担う人づくり

- ・ 地場企業に対する経営指導や相談業務の充実を図るとともに、研修、交流機会の充実に努めた。
- ・ 指導機関の機能充実を図り、中小企業などの経営安定と効率化を進めた。
- ・ 市内産業人の起業マインドを助長するため、起業セミナーや研修会を開催するなど起業のための情報と機会の提供を図った。
- ・ 経営者団体や技術グループの交流、情報交換活動を支援した。
- ・ 高校生のインターシップ事業や企業見学会を通して、次代を担う産業人の育成を図るとともに、地域の産業を担う技術者を育成するため職業訓練校の運営を支援した。

4 企業誘致の促進

- ・ 地場産業の生産誘発効果を高めるため研究開発施設の誘致に努めたが、経済の低迷により、各企業の設備投資や技術・製品開発が低下していることから、先端技術企業系の新たな誘致は2社（エコ21、アイシン精機）に留まった。
- ・ 市の独自支援事業として創設した起業化支援事業補助金を活用し、地場産の生乳で乳製品等の製品開発を進めていた農業振興研究会の理念を継承し起業化（のぼりべつ酪農館）が図られた。

第2節 世界が集い、世界が楽しむ北の観光拠点をつくる

【施策の展開結果】

1 新しい時代のニーズに応える観光地づくり

- ・ 病院やホテルとタイアップした健康増進プログラムの実証を行うとともに、地獄谷や大湯沼周辺散策路の再整備を行った。
- ・ カルルススキー場のコース整備の拡充を図るとともに、スキー場利用者のアク

セス機能を高めるため周辺道路の整備を実施した。

- ・ 観光客の利便性を図るため、千歳空港から室蘭行き的高速バスに対する登別温泉行きシャトルバスの運行を実現した。
- 2 国際観光レクリエーション都市にふさわしい受入れ体制の整備
- ・ 観光従事者に対する語学研修の実施や接遇マニュアルを作成し配布した。
 - ・ 外国語による案内標識等の設置をすすめるとともに、4ヶ国語によるホームページでの観光情報の発信を図った。
- 3 観光ソフト事業の推進
- ・ 地域イベントを活用して、国内各地で観光PRを行うとともに、広域連携による東アジア地域に対する海外キャンペーンを実施するなど誘客促進に努めた。
 - ・ 白老町との連携によるツアーガイドの養成研修を行うとともに、ボランティアガイドの育成など市民のホスピタリティ意識の高揚を図った。

第3節 海と大地の恵みを力に変える

【施策の展開結果】

1 農業の振興

- ・ 農業者の生活環境改善と農業生産基盤の向上のため、農免農道整備や草地改良事業等を推進した。
- ・ 意欲的な農業の担い手を育成するため、各種研修会や講習会などへの参加を促進した。
- ・ 国の施策である食料・農業・農村基本計画（17・3・25閣議決定）の実現に向けて、認定農業者確保の対応を図った。
- ・ 酪農・畜産の家畜ふん尿の管理の適正化と良質な堆肥利用を促進するため、資源リサイクル事業等により堆肥をほ場へ還元し土地生産力の向上を図っている。
- ・ 登別市農業振興研究会は5年間にわたり地場製品の加工・研究や製造・卸販売を行ってきたが、同研究会の意志を継承した（有）のぼりべつ酪農館が平成16年1月設立に至り、同年5月から製造を開始し地元ホテルなどへ牛乳等、乳製品の販売を行っている。

2 水産業の振興

- ・ 登別市・白老町・漁組の共同で各種調査・研究を行なうための漁業専門員の配置により、沿岸漁場の造成や「つくり育てる漁業」・「新しい資源づくり」推進を図った。
- ・ 課題となっていた鷲別漁港の漂砂対策と港内の静穏度向上について、10ヵ年計画による施設整備に着手した。
- ・ 登別漁港整備については、平成14年4月第3種漁港に指定され、国の直轄事業による衛生管理に対応した漁港築設が図られることとなった。
- ・ 多目的利用が可能な漁港整備を促進し、産地直売などに対応した都市交流型の水産業を目指すため登別・白老地域マリンビジョン協議会を設立し協議を行って

いる。

- ・ 漁業近代化資金について助成を行なうとともに、漁場の改良やエゾバフンウニの種苗放流など漁業経営の安定化を図るための支援を行なった。

第4節 高い技術力と製品開発力を備えた、活力ある工業をつくる

【施策の展開結果】

1 工業技術力のアップ

- ・ 産学官の連携や異業種交流の促進に努めるとともに共同研究や技術・製品開発の支援を行なった。
- ・ 室蘭テクノセンターを活用し研究開発の開始段階から販路拡大並びに企業・品質の向上までの一貫した支援制度（ものづくり創出支援事業）を創設し、和太鼓の改良と農業廃棄物を主原料とする農作物の成長促進剤の研究などに繋がった。

2 新製品の開発

- ・ 産学官の連携、異業種交流の促進など共同研究や技術・製品開発への支援に努めた。
- ・ 独自支援事業として創設した「新産業創造活動事業補助金」の活用により、市内に自生している熊笹による“竹炭”や温泉水を利用した“温泉石鹸”の製品化など新製品開発への取り組みが促進された。

第5節 市民の生活文化を支え、にぎわいと楽しさに満ちた交流の場となる商業をつくる

【施策の展開結果】

1 商業機能の強化

- ・ インターネット・携帯電話を活用し、飲食店のサービスメニューなど暮らしの情報発信を行う「情報ピピットクラブ」の設立や地域限定クーポン誌「のぼネット」の発刊など、特色ある商店街づくりや商店街の組織化、法人化を目指したソフト事業を支援した。
- ・ 商工会議所が実施する中小企業経営革新セミナーや起業家セミナー、公共分野への民間参入の方策を探るPPP研究会など、創造的産業活動事業に対し支援を行なった。

2 商業環境の整備と充実

- ・ 消費者ニーズに対応して個店の改造や商店街近代化を進め、高度な商業集積を図り特色ある商業環境づくりを支援した。
- ・ 共同店舗「アーニス」を中核施設に中心部にふさわしい商店街づくりを進めた。
- ・ 温泉街の道路整備事業に併せ、観光客に親しまれる商店街づくりを目指して協議が進められている。

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第1節 機能的な交通・情報ネットワークで活力とふれあいを運ぶ

【施策の展開結果】

1 広域幹線道路網の整備

- ・ 都市間交通の円滑化と交通ネットワークの強化を図るため、国道36号の4車線拡幅整備の促進に努めた。
- ・ 多様化し増大する観光レクリエーション需要に対応するため、道道倶多楽湖公園線、洞爺湖登別線など広域幹線道路網の整備促進に努めた。

2 市内幹線道路網の整備及び市道の整備

- ・ 幌別地区商店街近代化事業と連動した、道道弁慶幌別線の整備促進を図った。
- ・ 日常生活に身近な生活道路について、市内における各地区の連携を強化し、地域産業の発展と都市機能の強化充実を図るため、10年間の目標を定め事業を進めましたが、事業手法の見直しなどがあり、整備率は65%にとどまった。
- ・ 植樹帯の設置や歩道の段差解消、点字ブロック設置など市民に親しまれ、高齢者や障害者にやさしい施設づくりに努めた。

3 交通輸送体系の整備

- ・ 市内循環バス、都市間高速バスの充実の促進を図った。
- ・ バスターミナル、タクシー乗り場の設置等、幌別駅前広場の機能充実を図った。

4 情報、通信体制の整備

- ・ 高度情報化社会の進展に対応するため、「行政情報化の指針」と「情報基盤の整備計画」を策定し、1人1台パソコンの整備を図るとともに財務会計システム、グループウェアの導入など行政情報化の推進に努めた。
- ・ 各公共施設を高速通信で結ぶ光ファイバー網の構築を図ったほか、IT普及の拠点として「地域情報センター」を開設するとともに、市民各層を対象にIT講習会を開催するなど地域情報化の推進に努めた。
- ・ 全国の地方公共団体をネットワーク化する総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続するとともに、北海道、道内各市町村と共同で電子申請システムなどの開発・運用に取り組む（北海道電子自治体共同運営協議会への参加）など、電子市役所の構築に向けた取り組みを進めた。
- ・ 住民基本台帳ネットワークシステムの構築を行なうとともに公的個人認証サービスの導入を図った。

第2節 快適さとやすらぎと自然に満ちた空間で暮らしを包む

【施策の展開結果】

1 美しい都市景観の創造

- ・ 平成15年度に登別市景観基本計画を策定し、景観に対する進む方向性を示した。
- ・ 道路、公園及び河川等の公共施設整備の質的向上やデザインの調和について、地域の意見を捉えて整備を行なった。

2 住みよい市街地の整備と宅地・住宅の確保

- ・ 民間の宅地開発について、開発指導要綱や開発技術基準を定め、良好な宅地供給の指導に努めた。
- ・ 市営住宅ストック総合活用計画に基づき、老朽化住宅の建替整備を行うとともに高齢者や障害者に優しい良質な住宅の確保を図った。

桜木団地建替 3棟130戸 駐車場、集会所、児童遊園等の整備

幌別東団地建替 2棟44戸 駐車場整備

- ・ 公営住宅団地内の植栽整備や駐車場整備など環境改善を図るとともに、既設住宅の外壁塗装や屋根葺き替えなど景観の改善に努めた。

3 上水道事業の整備

- ・ 水道事業会計システムや水道料金システムの導入を行い、事務の効率化を図るとともに組織の見直しによる人件費の抑制や検針・徴収業務を民間に委託するなど経営の健全化確保に努めた。
- ・ 安全で良質な水を安定的に供給するため、登別温泉浄水場ろ過池改修、幌別浄水場ポンプ設備等改修のほか、水質監視盤等、必要な機器類の整備を図った。
- ・ 安定的かつ効率的配水を確保するため、送配水管の整備を行うとともに老朽配水管の計画的更新を図った。
- ・ 災害その他の非常時における給水の安定供給と低水圧の解消及び貯水量確保のため、登別温泉高区配水池と柏木配水池を新設した。
- ・ 漏水調査など漏水防止対策を進めた結果、平成16年度末で有収率が88.06%に向上した。

4 公園の整備

- ・ 地域の特色を活かした憩いの場づくりとして、富岸公園、美園公園、登別公園及び亀田記念公園の整備を行い公園の新設を推進した。
- ・ 既存公園の適切な維持管理に努めるとともに、地域の要望を踏まえ街区公園（6ヶ所）の改修整備を行った。
- ・ 亀田記念公園については、公園機能の充実と多目的トイレの設置など公園内のバリアフリー化を図るとともに、区域内の河川改修の促進に努めた。

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第1節 生涯を通じて学ぶ心を育み、学ぶ環境を整えて生涯学習社会の実現をめざす

【施策の展開結果】

1 生涯学習推進体制の整備

- ・ 市民一人ひとりが、健康で安心できる生活の中で、生きがいをもって自分らしさを追い求めることのできる生涯学習社会の実現に向け、「生涯学習推進基本構想」を策定した。
- ・ 市の各部局で取り組みを進めている生涯学習推進事業の情報を収集整理し、堅密な連携と効果的な事業推進に努めた。

2 生涯学習事業の整備

- ・ 市民の学習ニーズを把握するとともに、学習プログラムの開発に努めたことにより、生涯学習内容の充実が図られた。
- ・ 生涯学習ニュースの発行など、市民への生涯学習の普及啓発に努めるとともに、市民生涯学習推進講座（ときめき大学、婦人短期大学、家庭教育学級等）を推進し、学習機会の提供を図った。

3 生涯学習指導者の確保

- ・ 豊かな知識や経験をもつ人材情報を収集整理した「生涯学習人材バンク」を設立し、生涯学習指導者の確保と活用を図った。

4 生涯学習情報の提供と生涯学習相談体制の充実

- ・ 市広報紙や各種メディアを通じ生涯学習に関する情報の提供を積極的に行うとともに、生涯学習に関する相談体制の整備充実を努めた。
- ・ 市民が自主的に組織する団体やサークルに関する情報収集を行なうとともに、市民への情報提供システムを構築し学習機会の提供に努めた。

5 生涯学習施設の整備

- ・ 既存施設の多目的利用を図るとともに、学校体育施設の夜間開放を行うなど、学習ニーズに対応した柔軟な施設の管理運営に努めた。

第2節 一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな心を育てる

【施策の展開結果】

1 幼児教育の充実

- ・ 私立幼稚園の教職員研修、教材教具整備、幼保一元化施設整備等に対し支援を行い、私立幼稚園の教育活動や教育環境の充実が図られた。
- ・ 急激に進む少子化傾向の中、将来にわたって安定的で良質な幼稚園教育を確保するため「幼稚園教育は民間に委ねる」とし、公立幼稚園は平成16年度をもって廃園した。
- ・ これまでの幼稚園・保育所という垣根を乗り越えて、それぞれが強い連携と可能な分野からの融合を図る「幼保一元化」事業を実施し、幼児教育・幼児保育の充実を図った。

2 小中学校教育の充実

- ・ 教育目標である「豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成」を目指し、地域の自然や文化・人材などを活用した特色ある教育活動の実践や国際化・情報化時代に対応した多様な教育活動を推進し、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、保護者や地域に開かれた学校づくりが図られた。

3 特殊教育の充実

- ・ 障害の種別や程度に応じた教育カリキュラムによる指導のほか、市独自の基準による介助員の配置や特殊教育の環境整備を行い、障害のある児童生徒への支援体制や特殊教育の充実が図られた。

4 高等教育の充実

- ・ 学生募集や地元での雇用確保を支援するなど、高等教育機関の振興が図られた。

第3節 いきいきとした学習の機会と場をつくる

【施策の展開結果】

1 学習機会の提供

- ・ 生涯学習に関する情報提供が積極的に行なわれたほか、生涯学習に関するさまざまなイベントや活動の展開により、市民の学習機会の幅が広がった。

2 社会教育団体等の育成と指導者養成

- ・ 社会教育団体等の育成と指導者養成が図られ、生涯学習の機会づくりが進展した。

3 学習諸条件の整備

- ・ 社会教育施設や婦人研修の家の整備を行い、生涯学習の場の確保に努めるとともに、IT機器を活用しての学習や民間団体との連携により生涯学習事業が行われるなど、学習諸条件の整備が進められた。

第4節 個性豊かなふるさとの文化をつくる

【施策の展開結果】

1 地域に根ざした個性ある文化活動の支援

- ・ 文化協会や児童生徒の文化活動における全道・全国大会出場に対する財政支援の継続により、地域に根ざした個性ある文化活動の支援が図られた。

2 文化を育む環境づくり

- ・ 文化活動の拠点施設の適正な維持管理に努めた。
- ・ 質の高い芸術文化観賞事業を継続して開催したほか、文化関連団体と連携して芸術文化事業に取り組んだことにより、文化を育む環境づくりが進んだ。
- ・ 文化を育む環境づくりに関するガイドポストである「文化振興基本計画」を策定した。

3 文化財の保護と郷土芸能の伝承

- ・ 文化財の保護について適正な管理に努めるとともに、学芸員の新たな配置と出前講座の実施により、文化財に関する学習機会の提供や埋蔵文化財保護に関する啓発が図られた。

- ・ 郷土芸能については、学校での伝承活動や演舞機会の提供を行ったことにより、その伝承が図られた。

第5節 スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす

【施策の展開結果】

- 1 生涯スポーツ及び競技スポーツの振興
 - ・ 生涯スポーツに関する情報の提供や各種事業の展開に努めたほか、市民スポーツ団体の育成にも力を注いだことにより、市民の健康で活力ある生活の構築が図られた。
 - ・ 生涯スポーツの振興に関するガイドポストである「スポーツ振興基本計画」を策定した。
- 2 指導者の養成と確保
 - ・ スポーツ関係団体へ支援を行うとともに、指導者養成研修会の開催や研修会への派遣を促進することにより、スポーツの普及と振興が図られた。
- 3 スポーツ施設の整備充実
 - ・ 市民プールの新設や岡志別の森運動公園、陸上競技場、総合体育館の整備を図るとともに、学校体育館開放期間の拡大により、市民のスポーツ施設の利便性が高まった。

第6節 生涯学習を支える図書館機能を高める

【施策の展開結果】

- 1 図書館資料の充実と施設の整備
 - ・ 新刊案内リストの毎月配布やホームページ上での案内、広報・新聞等で情報の提供に努めたことにより、図書情報の充実が図られた。
 - ・ 新図書館建設の具体策については財政状況が厳しいことから引き続き市民とともに検討を行う。
- 2 図書館サービスの充実
 - ・ コンピュータネットワークの構築により、図書や各種統計資料の抽出等に迅速化が図られた。
 - ・ 図書利用の機会拡大に努めたほか、各種図書館事業の展開が行われ、図書館サービスの向上が図られた。
- 3 図書館ネットワークの構築
 - ・ 市独自の蔵書検索機能の充実を図るとともに、道立図書館、他都府県の図書館との連携強化により蔵書検索や図書館情報の交換など市民の利便性向上につながった。
 - ・ 市内の各学校へ移動図書館を巡回させ、図書利用の推進が図られた。

第6章 担いあうまちづくり

第1節 担いあうまちづくり

【施策の展開結果】

- 1 まちづくり意識の高揚と活動リーダーの育成
 - ・ 登別漁港まつりや商業活性化イベントなどに対し財政的支援を行うことにより、漁業者や商業者と地域住民との交流の促進を図るとともに地域の活性化が図られた。
 - ・ 西暦2000年には多くの市民が参加し、市制施行30周年記念イベントが催され、まちづくり団体相互の連携と全市的なまちづくり意識の高揚が図られた。
 - ・ いきいき推進事業補助金の活用により、まちづくり活動、文化活動、商品開発など市民の自主的・主体的な取組みに対し支援を行い、多彩な地域活動の推進に努めた。
- 2 多彩な地域活動の推進
 - ・ 地方自治体を取巻く社会経済状況が厳しくなる中において、市民と行政の協働のまちづくりが必要となっており、そのなかでも核となるのが町内会等の住民組織である。
 - ・ その対応として市民への情報の提供が重要なことから、市の広報による積極的な情報発信や地区懇談会の開催による直接的な市民との対話など実施するとともに、連合町内会助成事業・町内会運営助成事業の充実に努め、住民自治活動への参加意識の高揚が図られた。
- 3 まちづくりネットワークの形成
 - ・ 全国鬼サミットの開催により、鬼をテーマとしたまちづくりについて情報交換し、全国各地の自治体や地域づくり団体とのネットワークの形成を図った。
 - ・ 市民憲章推進協議会による緑と花いっぱい運動などの実践活動を通じて、まちづくり団体相互の連帯を深めるとともに、「市民活動団体検索システム」を市のホームページ上に立ち上げ、地域活動グループの連携強化に努めた。
 - ・ これらの実践活動やネットワークの形成で、まちづくりへの連帯意識の向上や市民活動グループの連携が図られた。

第2節 交流ネットワークの形成

【施策の展開結果】

- 1 国内の様々な地域との交流
 - ・ 姉妹都市交流推進協議会への助成や姉妹都市小中学校交流事業実行委員会への補助金交付を継続して行うとともに、少年スポーツ大会へ助成金を交付したことにより、登別市と白石市の互いのまちの歴史の学習と交流が従来にも増して深まった。
 - ・ 胆振西部8市町村による西胆振広域圏振興協議会や室蘭地方開発期成会などを通じ、広域的な問題の協議を行なった。
 - ・ 白老町については、両市町の観光資源や施設、産業の連関を深めるとともに登

別漁港とクリンクルセンターの共同利用を進めている。

- ・ 観光分野においては、広域的な取組を図るため、登別市・白老町観光連絡協議会や西胆振観光戦略協議会において共同事業を推進した。

2 地域国際化の推進

- ・ 社会経済状況が急速に国際化・ボーダレス化が進んでおり、国を中心とする外交においては限界があるため、民間の交流が貴重なものとなっている。
- ・ 当市においては、中学生を対象とした海外派遣事業・自治体職員協力交流事業・民間を中心としたデンマークとの交流・A E T教諭による中学生の英語指導などの施策により、地域国際化の推進が図られた。
- ・ 中国広州市と「友好交流促進都市」の盟約を結び、市民訪問団の派遣など相互の観光振興を図るとともに経済・文化交流の推進に努めた。

II 土地利用計画（第1期基本計画1996年度～2005年度総括）

土地利用計画の総括にあたっては、基本計画で示した土地利用の基本的な考え方を利用区分ごとに総括したものであります。

1 生活創造域

(1) 住宅地

- ・生活創造域の土地利用にあつては、長引く景気の低迷や少子高齢化に伴い、人口の減少による住宅地の需要にも陰りが見えたものの、宅地ニーズの高い富岸・若山地区など30件26ha701区画の宅地造成が民間の開発行為により行われた。
- ・新たに富岸町や常盤町など5地区約13haの市街化区域の拡大を行い、民間の開発行為により184区画の整備がなされ住宅地が確保された。
- ・この開発行為に合わせ良好な住宅環境を確保することを目的に4件約12ha184区画の地区計画を決定した。
- ・新たな住宅地整備の一つとして土地区画整理による検討を行いました但し事業コスト高による土地所有者に対する負担割合が高くなり実施には至らなかった。
- ・既存住宅地における生活道路の確保されていない箇所については、関係者に対し指導を促し準公道としての指定を行い、55宅地の安定化を図り、また、私道路を市道として新たに3路線356mの認定を行い良好な住環境の改善を図った。
- ・住宅供給にあたり老朽化した公営住宅の取り壊した跡に12棟の立替、4棟の新設を行い健康で文化的な生活の確保を図った。

(2) 商業・業務用地、(3) 工業用地

- ・民間の開発行為により、市街化区域に編入し1件約5haの商業地の確保を行い、雇用や地域の活性化を図った。
- ・近隣の良好な住宅環境の確保を行う上で地区計画を定めた。
- ・経済の低迷が続く中で北海道での企業誘致件数が減少傾向にあり、当市においても企業からの進出の打診が無く土地利用の拡大を図ることが出来なかった。

2 特定利用域

- ・市民生活に欠くことのできない廃棄物の処分については、登別市千歳最終処分場の埋立てが平成11年度に終了したため、平成14・15年度に周辺的生活環境に影響のないよう水質の検査や緑化などの閉鎖工事を行った。
- ・最終処分場の閉鎖に伴い地域住民の理解を得て廃棄物管理型最終処分場の整備を平成11年度に行った。

3 自然利用域

- ・自然環境に恵まれた札内小学校跡地を活用し、地場産業と結びつく農畜産物の加工販売を促すため平成12年度より研究をはじめ、平成15年度に地元農業者などにより起業化を図った。
- ・農業振興については平成8年度から平成13年度の間西札内地区道営農免農道整備事業を実施し、平成16年度から19年度に畜産環境施設等事業を行い、農業の生産性の向上に努めた。

- ・農道整備や農地改良を行い生産性は維持しているものの、農業従事者の高齢化や後継者不足もあり新たな農用地の拡大は図ることが出来ず課題として残った。
- ・平成13年度にネイチャーセンターの整備を行い、市民の交流や自然学習を行う為の教育空間の確保に努めた。
- ・海岸及び沿岸海域については、国道36号線幌別バイパスの植栽や富浦町の保安林の補植を行い、景観形成の向上や維持保全を図り、海岸の緑や海浜などの環境保全に努めた。

4 観光レクリエーション利用域

- ・地域のコミュニティの場として登別温泉ふれあいセンターの改修を行い、地域のコミュニティの場の向上を図った。
- ・観光都市機能の高度化を図るため温泉バイパスの事業に合わせ市道の整備を行った。
- ・国際観光レクリエーションにふさわしい都市としてのコンベンション施設などについては、場所の選定は行ったものの地価が高いことから土地所有者の合意形成を図ることが難しく具体的な取組みには至らなかった。
- ・優れた自然の景勝地や天然資源について、遊歩道等の施設整備や美化清掃を実施し、貴重な観光資源の保全や活用に努めた。

5 自然共生域

- ・貴重な自然を保全するための保護条例の制定、鉱山地区の無秩序な開発を抑制する条例などの制定は、個人の財産に制約を課すことになるなどの問題もあることから実施する事が出来なく課題として残った。
- ・自然体験や自然学習の拠点としてネイチャーセンター整備や胆振幌別川の魚道の整備を行い人と自然のふれあいの場の整備を行った。

Ⅲ 総合評価

(前提)

- 総合計画第1期基本計画は、平成8年度から平成17年度までの10カ年を計画期間として設定した。
- 計画期間の10カ年は、第1次（平成8年度から平成10年度）、第2次（平成11年度から平成13年度）、第3次（平成14年度から平成17年度）の実施計画を策定した。
- 本総括表は、各実施計画点検表の実績額で調整したが、第3次実施計画については計画実施中のため、平成14年度、15年度、16年度は実績額、平成17年度は当初予算額で調整した。
- 総括にあたっては、主に市の事業を中心に作業を行い、総括表中、「章別点検概要」の計画事業・追加事業は、10カ年に実施した事業を掲載した。なお、一部の事業は、事業名を制度の改正、事業の再編・見直し等に変更していることから、現在の事業名を掲載した。

(考察)

- 市の10カ年の実施事業件数952件、投下事業費総額145,456百万円で投下事業費ベースでは、当初計画の104.9パーセントとなった。また、国及び北海道が当市に投下した事業費は49,156百万円であり、これを合わせると投下事業費総額は194,612百万円となった。
- 毎年度のローリング作業の結果、事業として追加実施したものは214件である。
- 各実施計画に掲載したが、10カ年で着手できなかった事業は16件である。

(1) 総括表

計画事業総数 754件、計画総事業費 138,653,783千円で設定した第1期基本計画(10カ年)の章別実績は、次のとおりである。

第1章 やさしさと共生するまち

計画事業数 174件、追加事業数 39件【合計事業数 213件】 (単位:千円)

区分	事業費	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	財源投下率
第1次 実施計画	計画額	11,359,689	4,988,256	1,034,208	441,200	2,230,651	96.9%
	実績額	11,008,468	4,837,063	1,031,779	431,400	2,208,058	
第2次 実施計画	計画額	12,726,194	4,956,222	1,271,436	172,500	2,472,888	128.8%
	実績額	16,396,146	6,276,014	1,603,575	354,900	3,414,732	
第3次 実施計画	計画額	25,798,907	10,545,659	2,874,199	246,100	3,708,961	108.6%
	実績額	28,006,260	10,822,026	3,099,574	352,400	3,990,567	
基本計画 (10カ年)	計画額	49,884,790	20,490,137	5,179,843	859,800	8,412,500	111.1%
	実績額	55,410,874	21,935,103	5,734,928	1,138,700	9,613,357	

第2章 自然とともに暮らすまち

計画事業数 147件、追加事業数 19件【合計事業数 166件】 (単位:千円)

区分	事業費	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	財源投下率
第1次 実施計画	計画額	10,855,357	1,252,650	56,279	6,039,800	16,400	97.4%
	実績額	10,568,713	1,356,467	117,886	5,988,200	20,979	
第2次 実施計画	計画額	14,179,314	3,100,511	144,619	7,633,800	653,178	89.3%
	実績額	12,668,430	2,751,221	187,125	6,957,203	491,957	
第3次 実施計画	計画額	11,343,769	2,920,933	54,271	6,645,900	392,525	114.3%
	実績額	12,969,893	3,596,286	91,635	7,268,542	591,319	
基本計画 (10カ年)	計画額	36,378,440	7,274,094	255,169	20,319,500	1,062,103	99.5%
	実績額	36,207,036	7,703,974	396,646	20,213,945	1,104,255	

第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち

計画事業数 121件、追加事業数 54件【合計事業数 175件】 (単位:千円)

区分	事業費	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	財源投下率
第1次 実施計画	計画額	3,574,500	30,550	42,635	451,200	78,123	98.3%
	実績額	3,514,311	25,900	51,149	466,000	80,963	
第2次 実施計画	計画額	3,609,745	48,900	53,723	634,500	2,133,108	114.0%
	実績額	4,116,473	30,806	46,530	633,701	1,689,304	
第3次 実施計画	計画額	3,010,905	25,741	19,521	67,000	242,670	76.7%
	実績額	2,308,029	104,784	196,317	0	327,833	
基本計画 (10カ年)	計画額	10,195,150	105,191	115,879	1,152,700	2,453,901	97.5%
	実績額	9,938,813	161,490	293,996	1,099,701	2,098,100	

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

計画事業数 108件、追加事業数 40件【合計事業数 148件】 (単位:千円)

区分	事業費	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	財源投下率
第1次 実施計画	計画額	11,869,009	1,740,720	5,417,772	2,557,500	143,253	114.5%
	実績額	13,592,464	1,746,997	5,066,874	4,822,800	315,079	
第2次 実施計画	計画額	9,246,923	1,550,151	794,991	4,189,000	270,291	107.1%
	実績額	9,906,578	1,807,428	955,990	4,477,730	377,096	
第3次 実施計画	計画額	12,969,255	1,005,932	5,768,308	3,539,140	59,100	96.1%
	実績額	12,469,523	1,010,173	6,753,651	2,089,900	1,844,115	
基本計画 (10カ年)	計画額	34,085,187	4,296,803	11,981,071	10,285,640	472,644	105.5%
	実績額	35,968,565	4,564,598	12,776,515	11,390,430	2,536,290	

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

計画事業数 175件、追加事業数 56件【合計事業数 231件】

(単位:千円)

区 分		事業費	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	財源投下率
第1次 実施計画	計画額	1,736,211	121,128	50,435	519,400	5,220	1,040,028	108.8%
	実績額	1,888,379	143,987	41,715	656,300	23,438	1,022,939	
第2次 実施計画	計画額	2,382,479	284,427	1,146	746,500	59,910	1,290,496	85.4%
	実績額	2,035,616	310,125	24,567	508,300	57,124	1,135,500	
第3次 実施計画	計画額	3,423,393	219,530	109,172	1,447,300	458	1,646,933	101.8%
	実績額	3,486,130	257,708	128,770	1,985,800	25,326	1,088,526	
基本計画 (10カ年)	計画額	7,542,083	625,085	160,753	2,713,200	65,588	3,977,457	98.3%
	実績額	7,410,125	711,820	195,052	3,150,400	105,888	3,246,965	

第6章 担いあうまちづくり

計画事業数 29件、追加事業数 6件【合計事業数 35件】

(単位:千円)

区 分		事業費	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	財源投下率
第1次 実施計画	計画額	161,278	0	514	0	12,210	148,554	94.8%
	実績額	152,953	0	653	0	12,783	139,517	
第2次 実施計画	計画額	196,253	0	0	0	46,860	149,393	92.6%
	実績額	181,713	0	0	0	3,920	177,793	
第3次 実施計画	計画額	210,602	0	0	0	21,720	188,882	88.2%
	実績額	185,738	0	0	0	13,841	171,897	
基本計画 (10カ年)	計画額	568,133	0	514	0	80,790	486,829	91.6%
	実績額	520,404	0	653	0	30,544	489,207	

合 計

計画事業数 754件、追加事業数 214件【合計事業数 968件】

(単位:千円)

区 分		事業費	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	財源投下率
第1次 実施計画	計画額	39,556,044	8,133,304	6,601,843	10,009,100	2,485,857	12,325,940	103.0%
	実績額	40,725,288	8,110,414	6,310,056	12,364,700	2,661,300	11,278,818	
第2次 実施計画	計画額	42,340,908	9,940,211	2,265,915	13,376,300	5,636,235	11,122,247	107.0%
	実績額	45,304,956	11,175,594	2,817,787	12,931,834	6,034,133	12,345,608	
第3次 実施計画	計画額	56,756,831	14,717,795	8,825,471	11,945,440	4,425,434	16,842,691	104.7%
	実績額	59,425,573	15,790,977	10,269,947	11,696,642	6,793,001	14,875,006	
基本計画 (10カ年)	計画額	138,653,783	32,791,310	17,693,229	35,330,840	12,547,526	40,290,878	104.9%
	実績額	145,455,817	35,076,985	19,397,790	36,993,176	15,488,434	38,499,432	

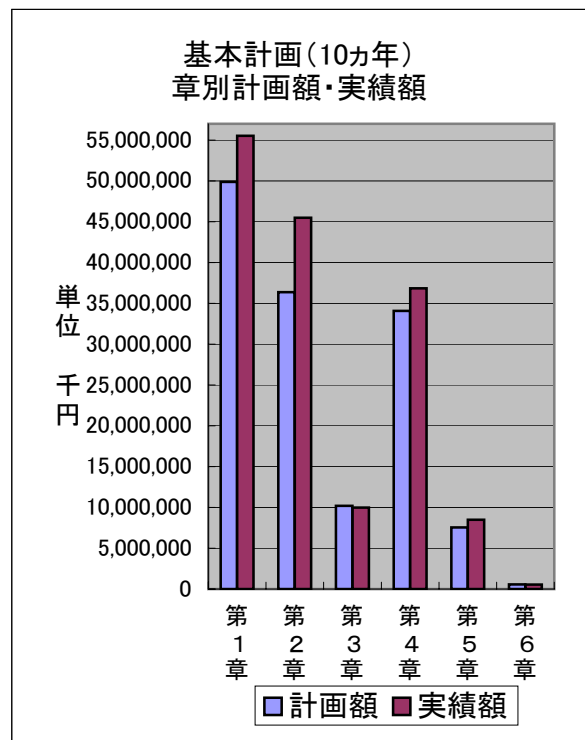
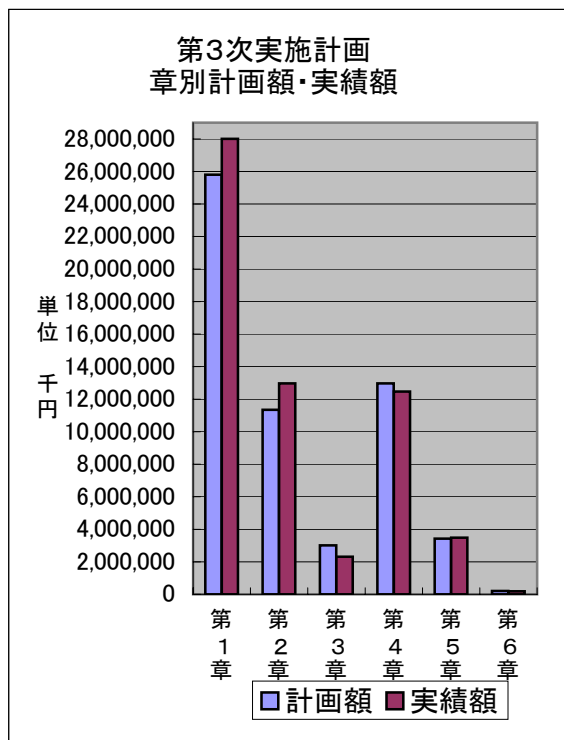
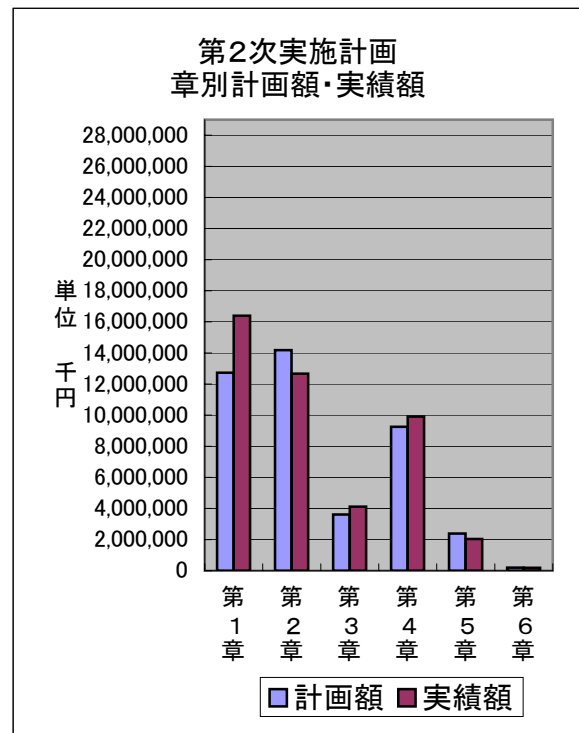
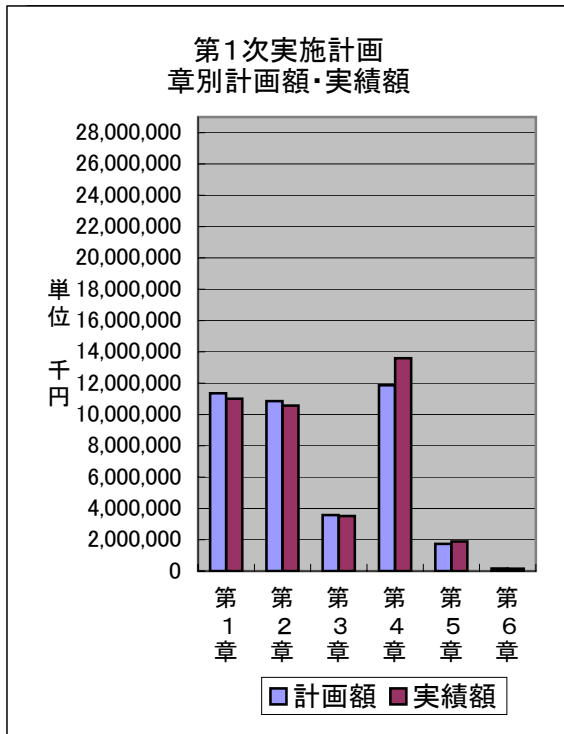
第1期基本計画(10ヵ年)において、国及び北海道が登別市に投下した事業費は、次のとおりである。

【上段:国、中段:北海道、下段:計】

〈単位:千円〉

区 分	道路事業	街路事業	農道事業	河川事業	海岸事業	漁港事業	計
第 1 次 実施計画	1,197,000	0	350,486	0	0	0	1,547,486
	2,386,990	7,648,700	278,348	592,860	652,909	1,356,959	12,916,766
	3,583,990	7,648,700	628,834	592,860	652,909	1,356,959	14,464,252
第 2 次 実施計画	1,274,000	0	336,274	0	0	0	1,610,274
	1,599,100	4,336,700	259,161	1,422,106	1,692,063	221,806	9,530,936
	2,873,100	4,336,700	595,435	1,422,106	1,692,063	221,806	11,141,210
第 3 次 実施計画	2,546,000	0	36,721	0	0	1,297,000	3,879,721
	3,674,000	7,819,100	65,047	1,036,064	5,417,463	1,659,402	19,671,076
	6,220,000	7,819,100	101,768	1,036,064	5,417,463	2,956,402	23,550,797
基本計画 (10ヵ年)	5,017,000	0	723,481	0	0	1,297,000	7,037,481
	7,660,090	19,804,500	602,556	3,051,030	7,762,435	3,238,167	42,118,778
	12,677,090	19,804,500	1,326,037	3,051,030	7,762,435	4,535,167	49,156,259

第1次実施計画から第3次実施計画、及び基本計画（10カ年）の章別の計画額・実績額をグラフに表わすと次のとおりである。



(2) 章別点検概要

第1章 やさしさと共生するまち

第1次～第3次 計画事業数 174件 追加事業数 39件 合計 213件 計画事業費 49,885百万円 (うち第3次分 25,799百万円) 実施事業費 55,411百万円 (うち第3次分 28,005百万円) 財源投下率 111.1% (第3次分 108.6%)
--

第1節 共に支え合う福祉の基盤づくり (単位:百万円)

実績	計画額	実績額
・社会福祉、在宅福祉の向上など、地域福祉活動の推進を図るとともに、福祉の基盤づくりとノーマライゼーションの普及を図るため、市民ボランティアフォーラム、ふれあい広場の開催、ホームヘルパー3級課程養成講座の開講、福祉読本、「福祉のしおり」の作成や社会福祉協議会への支援などを行った。	400	393
【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉啓蒙経常事業 ・社会福祉事業推進費補助事業 ・地域福祉活動促進事業費補助事業 ・登別市民生児童委員協議会補助事業 ・民生委員活動事業 ・総合福祉センター運営管理事業 ・ホームヘルパー3級課程養成研修事業 ・平成9年度日本介護福祉士養成施設協会全国教員研修会助成事業 【追加事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄南ふれあいセンターボイラー整備事業 【未実施事業】 事由は別紙のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・総合福祉情報システム開発事業 		

第2節 「輝いて、生涯現役」のびやかな人生が息づくまちをつくる (単位:百万円)

実績	計画額	実績額
・高齢者介護を社会全体で支える介護保険制度の適切な事業運営に努めた。 ・長寿祝い金の支給、老人憩いの家の整備、しんた21の施設整備など、活力ある高齢化社会への基盤づくりを進めた。 ・シルバー人材センターへの支援、高齢者福祉施設の整備や全道老人クラブ大会への支援など、高齢者の生きがいや社会参加を促進した。 ・訪問看護ステーション、在宅介護支援センターの運営支援、一人暮らしの高齢者への配食サービス事業、高齢者等緊急通報機器設置、「介護サービスマップ」の作成など、高齢者の在宅福祉サービスの充実に努めた。 ・軽費老人ホームケアハウス事業への支援、デイケアサービス支援、特別養護老人ホーム増築支援、病院の新築移転事業支援など、施設サービスの充実に努めた。	19,106	21,935
【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・老人憩の家備品整備事業 ・総合福祉センタートレーニング機器購入事業 ・生きがい対策事業補助事業 ・長寿祝金等支給事業 ・三市高齢者交流事業 ・登別市老人クラブ連合会補助事業 ・老人クラブ運営費補助事業 ・敬老会補助事業 ・老人福祉センター祭り ・シルバー人材センター補助事業 ・老人趣味の作業所運営事業 ・老人医療費助成事業(道老) ・老人医療費助成事業(市老) ・介護保険事業 ・老人憩の家整備事業 ・老人ホームヘルプサービス事業 ・老人デイサービス事業 ・配食サービス事業 		

- ・ 障害者ホームヘルプサービス低所得者利用者負担軽減事業
 - ・ ホームヘルプサービス低所得者利用者負担軽減事業
 - ・ 社会福祉法人利用者負担減免助成事業
 - ・ 住宅改修支援事業
 - ・ 介護サービスマップ作成事業
 - ・ 在宅介護支援センター運営事業
 - ・ 外国人高齢者・障害者福祉給付金支給事業
 - ・ 介護予防・地域支え合い事業(緊急通報システム)
 - ・ 介護予防・地域支え合い事業(布団乾燥・電話・移送サービス)
 - ・ 介護予防・地域支え合い事業(老人日常生活用具等給付)
 - ・ 特別養護老人ホーム建設事業資金借入金元利補給事業
 - ・ 老人措置事業
 - ・ 養護老人ホーム恵寿園運営事業
 - ・ ケアハウス建設資金貸付事業(彩咲会)
 - ・ 特別養護老人ホーム増築事業資金借入金元利補給事業
 - ・ 老人ショートステイ事業
 - ・ 家族介護慰労事業
 - ・ 老人福祉センターボイラー(給湯暖房機)1基更新事業
 - ・ 総合福祉センター施設等整備事業
 - ・ 国民年金事業
 - ・ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業
 - ・ 高齢者地域ケア推進特別対策事業
 - ・ 訪問看護ステーション運営事業
 - ・ 地下水揚水及び給水事業
 - ・ (仮称)美園会館(老人憩の家光和園)整備事業
 - ・ 登別市老人クラブ連合会30周年記念並びに白石市、登別市老人クラブ連合会姉妹提携10周年記念補助事業
 - ・ 老人福祉センター庭園暗渠等設置及び営繕事業
 - ・ 恵寿園内外部改修及び管理住宅補修事業
- 【追加事業】
- ・ 高齢者バス事業
 - ・ 登別市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画見直し事業
 - ・ 恵寿園施設等整備事業(暖房設備更新)
 - ・ 第37回全道老人クラブ大会助成事業
 - ・ 恵寿園施設等整備事業(受水槽増設工事)
 - ・ 恵寿園受水槽増設事業費
 - ・ 総合福祉センターハンドドライヤー購入事業
 - ・ 浴槽改修事業(恵寿園)
 - ・ 地域総合整備資金貸付事業(三愛病院増築分)
 - ・ 高齢者保健福祉計画推進事業
 - ・ 総合福祉センター2階手摺り改修事業
- 【未実施事業】 事由は別紙のとおり。
- ・ 認知症グループホーム運営事業

第3節 「輝いて、生涯健康」一人ひとりが健康を守り育てるまちをつくる

(単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに取組むため、健康づくりパンフレットの配布、健康まつりや健康増進講座の開催、がん検診や人間ドック、脳ドック助成など、環境整備を推進した。 ・心身の健康を確保するため、母と子の健康づくり事業、老人保健事業など、各種検診事業を推進した。 ・人工透析施設の進出支援、病院の開業による未診療科目の解消など、保健・医療体制の整備に努めた。 	1,581	1,574
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理システム導入事業 ・健康増進事業 ・ヘルスパイオニアタウン事業・疾病予防事業 ・ヘルシークッキング教室事業 ・母と子の健康づくり事業(幼児歯科保健対策経費) ・母と子の健康づくり事業(乳児健康診査経費) ・母と子の健康づくり事業(1歳6カ月児健康診査経費) ・母と子の健康づくり事業(母子栄養管理事業経費) ・母と子の健康づくり事業(妊婦健康診査) ・母と子の健康づくり事業(3歳児健康診査) 		

- ・ 母と子の健康づくり事業(母子訪問指導)
- ・ 母と子の健康づくり事業(健やか親子教室)
- ・ 児童生徒健康診断等事業
- ・ 老人保健事業(健康手帳作成)
- ・ 老人保健事業(健康教育)
- ・ 老人保健事業(健康相談)
- ・ 老人保健事業(健康診査)
- ・ 老人保健事業(訪問指導)
- ・ 結核検診事業
- ・ 老人保健事業(機能訓練A型)
- ・ 老人保健事業(歯周疾患)
- ・ 予防接種事業
- ・ エキノコックス症予防対策事業
- ・ 地域医療対策事業
- ・ 献血推進事業補助事業
- ・ 救急医療対策事業
- 【追加事業】
- ・ 健康増進計画策定事業
- ・ 総合福祉センタートレーニング室等改修事業
- ・ 転倒予防教室事業
- ・ 室蘭・登別保健センター大規模改修事業負担
- ・ 第25回難病者・障害者と家族の全道集会事業
- ・ 人工透析センターの建設(登別サテライトクリニック用地取得)

第4節 やさしさに満ちた福祉社会を築く

(単位:百万円)

実績	・公共施設のバリアフリー化を推進するとともに、障害者の日常生活の支援、障害者の社会的自立の支援、小規模通所授産施設の運営支援、精神障害者共同住居運営事業の支援や福祉マップの作成などを推進した。	計画額	実績額
		24,718	25,282
	【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域療育推進事業 ・ 児童デイサービスセンターのぞみ園運営事業 ・ 特別障害者手当等支給事業 ・ 精神保健対策事業 ・ 重度心身障害者医療費助成事業 ・ 心身障害者地域共同作業所運営補助事業 ・ 重度心身障害児介護手当給付事業 ・ 精神障害者共同住居運営事業費補助事業 ・ 精神障害者通所授産施設運営費補助事業 ・ 室蘭地方腎友会運営事業補助事業 ・ 北海道難病連運営事業負担事業 ・ 西胆振精神障害者家族会協議会運営事業補助事業 ・ 精神障害者居宅支援事業(ホームヘルプ・ショートステイ) ・ 社会福祉施設入所者(児)面会旅費助成事業 ・ 重度心身障害者在宅世帯等水道料金使用料金助成事業 ・ 身体障害者補装具給付事業 ・ 肢体不自由児(者)父母の会補助事業 ・ 登別市ことばを育てる親の会補助事業 ・ 身体障害児補装具給付事業 ・ 重度身体障害者日常生活用具給付事業 ・ 重度身体障害児日常生活用具給付事業 ・ 小規模通所授産施設(すずかけ作業所)運営事業 ・ 身体障害者施設支援事業 ・ 知的障害者施設支援事業 ・ 身体障害者居宅支援事業 ・ 知的障害者居宅支援事業 ・ 障害児居宅支援事業 ・ 精神障害者ボランティア団体活動支援事業補助事業 ・ 重度障害者(児)福祉タクシー事業 ・ 身体障害者自動車燃料費助成事業 ・ 登別身体障害者福祉協会助成事業 ・ 登別視力障害者協会助成事業 		

- ・ 登別市手をつなぐ育成会補助事業
 - ・ 生活保護事業
 - ・ 低所得者等援護対策・行旅病人等事業
 - ・ 低所得者等援護対策・たすけあい金庫事業
 - ・ 児童入所施設措置事業(助産施設分)
 - ・ 生活館推進事業
 - ・ ひとり親家庭等医療費助成事業
 - ・ ウタリ住宅新築資金等貸付事業
 - ・ アイヌ文化普及啓発事業補助事業
 - ・ アイヌ民族文化祭補助事業
 - ・ 地方改善施設(道路)事業
 - ・ 身体障害者福祉・扶助事業
 - ・ 高齢者、障害者にやさしいまちづくり推進事業
 - ・ 知的障害者福祉事業
 - ・ 第30回胆振管内身体障害者スポーツ大会助成事業
 - ・ 生活保護安定運営対策事業
 - ・ 生活保護適正化運営対策事業
 - ・ 第38回北海道母子寡婦福祉大会助成事業
 - ・ 登別市障害者福祉計画策定事業
 - ・ 登別市こどもセンター事業
 - ・ 精神薄弱者福祉事業
 - ・ 身体障害者福祉・扶助事業
- 【追加事業】
- ・ 在宅身体障害者自立更生促進事業
 - ・ オストメイト対応トイレの設置事業
 - ・ 第43回全道障害者スポーツ大会開催事業
 - ・ 次期「登別市障害者福祉計画」策定事業
 - ・ 福祉マップ作成事業
 - ・ 全道ハンディキャップスキー大会補助事業
 - ・ 児童扶養手当管理システム開発事業
 - ・ 第12回北海道身体障害者ゲートボール大会運営助成事業

第5節 安心して子供を生み、健やかに育つ環境をつくる

(単位:百万円)

実績	実績内容	計画額	実績額
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登別市次世代育成支援行動計画の策定、保育所の開所時間の拡大、ファミリーサポートセンター事業の推進など、地域での子育て支援対策を推進するとともに、登別保育所の建替に伴い幼保一元化を実施した。 ・ 乳児保育、障害児保育、延長保育、一時保育、休日保育、保育所の広域入所など、保育サービスの充実に努めるとともに、各保育所の整備など、子育て環境の整備を図った。 ・ 子育て支援センターの開設、子どもショートステイ事業の実施、放課後児童クラブの充実に努めるなど、次代を担う子供たちの健やかな成長を支援する環境づくりに努めた。 	4,044	6,198
	<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別保育事業(障害児保育) ・ 特別保育事業(延長保育) ・ 広域入所事業(他市町村への保育委託) ・ 保育所学校給食指導事業 ・ 保育所施設整備事業 ・ 登別保育所建替事業 ・ 病院・事業所内保育実施事業補助事業 ・ 仕事と家庭両立支援(ファミリーサポートセンター)事業 ・ 放課後児童クラブ運営事業 ・ 普通保育所運営事業 ・ 児童扶養手当及び特別児童扶養手当支給事業 ・ 児童手当支給事業 ・ 乳幼児医療費助成事業 ・ 日胆はまなす里親会補助金 ・ 災害遺児手当支給事業 ・ 子育て支援センター運営事業 ・ 母子自立支援員事業(家庭児童相談室) ・ こどもショートステイ事業 ・ 特別保育科目実施事業(あそびの広場) 		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別保育科目実施事業(交流事業) ・ 保育所営繕事業 ・ へき地保育所運営管理事業 ・ 保育業務システムの導入事業 ・ 児童遊園地設置事業補助事業 ・ 児童館・児童センター運営管理に要する経費 ・ 児童館(児童センター)用常時補修事業 ・ 子育て支援総合計画の策定事業(仮称:登別市エンゼルプラン) <p>【追加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登別市次世代育成支援行動計画(子ども未来プラン21)の策定事業 ・ 富士保育所整備事業 ・ 桜木保育所解体事業 ・ 登別温泉保育所解体事業 ・ 登別保育所運営業務委託事業(幼保一元化モデル事業) ・ 特別保育事業(一時保育) ・ 特別保育事業(休日保育) ・ 母子家庭等自立支援事業(高等技能訓練促進給付金) ・ 母子家庭等自立支援事業(自立支援教育訓練給付金) ・ 母子家庭等自立支援事業(常用雇用転換奨励給付金) ・ 子育て支援センター事業

第6節 女性も共に参画する地域社会をつくる

(単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画講演会や学習会を開催し、男女平等の意識づくりに努めた。 ・ 男女共同参画社会づくりを推進するため、「はあもにいフェスタ・のぼりべつ」を開催し、「登別市男女共同参画基本計画(のぼりべつはあもにいプラン21)」を策定するとともに、推進会議を設置した。 ・ 女性の社会参画及び自主的な活動を促進するため、女性活動団体への支援や女性リーダーの育成に努めた。 ・ のぼりべつ男女共同参画懇話会の活動支援や女性を暴力から守る民間シェルターへの支援を行うとともに、健診機会の少ない女性の疾病予防を図るため、女性の健康づくりを促進するなど、女性施策の推進に努めた。 	36	27
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画社会づくり事業 ・ 男女共同参画社会づくり事業(民間シェルター運営補助金) ・ 第50回胆振管内婦人大会助成事業 ・ 婦人活動振興助成事業 ・ 三市合同女性国内派遣研修事業 ・ 女性の健康づくり事業(女性の健康診査) ・ 男女共同参画懇話会の活動支援事業 ・ 女性行動ビジョン策定事業 ・ のぼりべつ母親大会事業助成事業 ・ 女性の健康づくり推進事業(食生活改善推進員教育事業費) ・ 女性の健康づくり推進事業(食生活改善組織活動) <p>【追加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域人権啓発活動活性化事業 ・ 登別市婦人センター講座事業 		

第2章 自然とともに暮らすまち

第1次～第3次 計画事業数 147件 追加事業数 19件 合計 166件 計画事業費 36,378百万円（うち第3次分 11,344百万円） 実施事業費 36,207百万円（うち第3次分 12,970百万円） 財源投下率 99.5%（第3次分 114.3%） 北海道の投下事業費 3,051百万円
--

第1節 自然を保全し、活用し、創造しながらうるおいのある都市空間をつくる

（単位：百万円）

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全等に関する基本理念や各主体の責務などを定めた環境基本条例を策定した。 ・市民・事業者・行政が役割分担をするとともに、主体となって総合的な環境保全の推進を図るため、「登別市環境保全市民会議」を設置した。 ・事業所(市役所)として、環境管理システム、「環境配慮指針」、「温暖化対策推進実行計画」、「環境物品等の調達方針」に基づき、環境に配慮した取組に努めた。 ・みどりの基本計画に基づく緑化推進事業を積極的に展開し、緑の豊かなまちづくりを推進した。 ・人と自然のふれあい拠点整備事業の中核となるネイチャーセンターの建設、幌別ダム上流に「魚道」を整備、キウシト湿原緑地の保全など、人と自然がふれあう環境づくりの推進に努めた。 	952	835
【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な環境保全の推進事業 ・市民農園事業 ・キウシト湿原緑地保全事業 ・ネイチャーセンター運営管理事業 ・緑化推進事業 ・ボランティアレンジャーの育成及び自然環境調査事業 ・人と自然のふれあい拠点整備事業 ・緑化計画書作成委託事業 ・ふれあい交流事業(2) ・アイラブロード推進事業(中央通り環境美化事業) 【追加事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備地域活動支援交付事業 ・登別市いきもの調査事業 ・地域新エネルギービジョン策定事業 ・鉱山地区森林公園整備事業 ・幌別鉄南地区海浜地緑化事業 		

第2節 美しく、清らかな環境の中で、自然にやさしい生き方が見えるまちをつくる

（単位：百万円）

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理基本計画及びごみ減量化行動指針を見直し、環境に配慮した循環型社会を目指し、ごみ減量化推進事業、リサイクル促進事業などを推進した。 ・クリンクルセンター及び廃棄物管理型最終処分場等を整備し、ごみの有料化を図った。 ・千歳最終処分場と清掃工場について、周辺的生活環境に影響のないよう適正な閉鎖等を行い、清掃工場についてはストックヤードとして活用した。 ・健康的で快適な生活環境の改善を図るとともに、公共用水域の水質保全を目的に公共下水道事業の推進に努めた。 ・新火葬場の建設、墓地の造成、墓地管理システムの導入、墓地施設整備事業の推進など、霊園の整備を進めた。 	30,895	31,276
【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化推進事業(リサイクルの状況) ・ごみステーションネット化推進事業補助事業 ・ごみ再資源化推進事業補助事業 ・生ごみ堆肥化容器購入費補助事業 ・登別市衛生団体連合会運営事業補助事業 ・リサイクルまつり事業 ・ごみ減量化推進事業(資源ごみの回収) ・旧清掃工場(焼却設備)解体撤去事業 		

- ・一般廃棄物処理施設整備基金積立事業
 - ・千歳最終処分場整備事業
 - ・し尿処理施設整備事業
 - ・登別市個別排水処理施設整備事業
 - ・公害対策事業
 - ・野犬掃討等業務委託事業
 - ・有害鳥獣駆除事業
 - ・公共下水道事業
 - ・公共施設水洗化事業
 - ・火葬場建替事業
 - ・(仮称)新富浦墓地造成事業
 - ・墓地管理基金積立事業
 - ・墓地施設整備事業
 - ・新ごみ処理施設に係る適正排出推進事業
 - ・ごみ有料化事業
 - ・ごみ収集運搬業務委託事業
 - ・じん芥計量業務事業
 - ・新ごみ処理施設建設事業
 - ・清掃工場補修事業
 - ・新ごみ処理施設運転管理業務委託事業
 - ・有害大気汚染物質調査事業
 - ・生活排水浄化モデル事業
 - ・野犬掃討・畜犬登録事業
 - ・草刈装置購入事業
 - ・火葬場整備事業
 - ・墓地管理システム導入事業
 - ・半透明ごみ袋普及啓発事業
 - ・容器包装廃棄物の減量化・リサイクルの促進事業
 - ・塵芥収集車改造事業
 - ・塵芥収集車購入事業
 - ・地域環境の美化清掃及び不法投棄の防止啓発事業
 - ・麻酔銃(ガス式ピストル型)購入事業
- 【追加事業】
- ・ごみ減量化推進特別事業補助事業(ごみ分別辞典)
 - ・第54回北海道公衆衛生大会補助事業
 - ・旧清掃工場ストックヤード化等事業
 - ・観光スポット景観保全事業
 - ・旧火葬場解体のための調査事業
 - ・葬斎場整備事業(芝刈り機購入)
 - ・クリンクルセンターオープン1周年記念事業
 - ・道路パトロール車購入事業
- 【未実施事業】事由は別紙のとおり。
- ・ペット霊園造成事業

第3節 安全で安心して暮らせるまちをつくる

※実績額欄()の国・道の事業費は外数値

(単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策・防災事業 ・防災機器・防災用品整備事業 ・サイレン遠隔吹鳴装置設置事業 		

- ・避難所表示板設置事業
- ・総合防災訓練実施事業
- ・小規模治山事業
- ・林業振興事業
- ・河川環境整備特別対策事業
- ・登別温泉中央通り道路災害防除事業
- ・ヤンケン川河川改修事業
- ・来馬川支流整備事業
- ・サンライバの沢川河川改修事業
- ・登別市民有林造林推進事業
- ・登別市森林愛護啓発補助事業
- ・消防広報車購入事業
- ・消防用器具機材購入事業
- ・消防ポンプ自動車更新事業
- ・高規格救急自動車更新事業
- ・消防団員防火衣購入事業
- ・消防職員防火衣更新事業
- ・原因調査車更新事業
- ・水槽付消防ポンプ自動車更新事業
- ・大容量防火井戸新設事業
- ・消火栓新設事業
- ・消防団活性化対策事業
- ・消防用機器整備事業
- ・大規模災害用備蓄器具等整備事業
- ・救急救命士養成事業
- ・高度救急資機材購入事業
- ・水難救助資器材等購入事業
- ・若草町・新生町地区交番新設事業
- ・生活安全に関する啓発事業
- ・室蘭登別防犯協会連合会助成事業
- ・登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会助成事業
- ・社会を明るくする運動登別地区実施委員会負担事業
- ・登別地区保護司会補助事業
- ・防犯灯設置費補助事業
- ・カーブミラー設置事業
- ・照明灯設置事業
- ・美園57号線歩道新設事業
- ・除雪委託事業
- ・冬道対策事業
- ・ロードヒーティング整備事業
- ・鷺別学田路線歩道改良事業
- ・交通安全推進事業
- ・交通安全協会交付事業
- ・消費者行政推進事業
- ・登別消費者協会運営助成事業
- ・消費生活展開催補助事業
- ・消費生活モニター関係事業
- ・室蘭人権擁護委員協議会負担事業
- ・無料法律相談委託事業
- ・富浦漁港海岸保全事業
- ・2級河川治水対策事業
- ・幌別駐屯地周辺排水路整備事業
- ・道路防災総点検調査事業
- ・河川維持補修事業
- ・河川防護柵設置事業
- ・消防団器具整備事業
- ・消防施設維持補修事業
- ・消防団緊急伝達システム整備事業
- ・救急自動車再利用改造事業
- ・はしご付消防ポンプ自動車購入事業
- ・消防緊急通信指令施設更新事業

- ・ 消防用器具機材購入事業
- ・ 防火水槽改修事業
- ・ 救急教育訓練資器材購入事業
- ・ 各種資格取得事業
- ・ 鷺別旧墓地路線歩道新設事業
- ・ 登別港町跨線人道橋整備事業
- ・ 登別富浦路線歩道整備事業
- ・ 交通安全指導員被服整備事業
- ・ 地区防災担当職員活動強化事業
- ・ 登別市防災協力員活動強化事業
- ・ 防災行政無線(同報系システム)整備事業(「無線吹鳴モーターサイレン整備事業」へ名称変更)
- ・ 西富岸川河川改修事業
- ・ 河川用地確定測量事業
- ・ 消防用車庫新築事業
- ・ 消防施設等補修事業
- ・ 消防施設維持事業
- ・ 消防緊急通信指令装置補修事業(非常用バッテリー更新)
- ・ 消防指揮車購入事業
- ・ 消防波(全国共通波)増波事業
- ・ 接続金具差込式移行事業
- ・ 消防団運営事業
- ・ 救急業務高度化対応資機材等整備事業
- ・ 救急高度化に伴う救命資機材購入及び車両改造事業
- ・ 手指消毒器及び紫外線殺菌ロッカー購入事業
- ・ 雪寒機械整備事業
- ・ 川上路線歩道新設事業
- ・ 富士54号線歩道新設事業
- 【追加事業】
- ・ 登別市ハザードマップ作成事業
- ・ 消防緊急通信指令設備整備事業
- ・ 交通安全に関する啓発事業
- ・ 交通安全車購入事業
- ・ 東札内の沢復旧治山事業
- 【未実施事業】 事由は別紙のとおり。
- ・ 化学消防ポンプ自動車購入事業
- ・ 東町34号線歩道整備事業
- ・ 消防大学校派遣事業
- ・ 消防庁舎・防災センター新設事業(実施設計)
- ・ 大型水槽車購入事業
- 【北海道の投下事業】
- ・ 河川事業

第3章 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち

第1次～第3次 計画事業数 121件 追加事業数 54件 合計 175件 計画事業費 10,195百万円（うち第3次分 3,011百万円） 実施事業費 9,939百万円（うち第3次分 2,308百万円） 財源投下率 97.5%（第3次分 76.7%） 国の投下事業費 2,020百万円 北海道の投下事業費 11,603百万円

第1節 地場産業の複合化を図り、豊かな資源を力に変える

（単位：百万円）

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・地域再生計画「産業クラスター形成計画」を策定し、地域の有する産業、文化、自然環境などのネットワーク化による市全域の観光経済圏化に着手した。 ・「産業フェア『イン登別』」の開催支援や市内外で開催されるイベントでの物産展への参加支援など、新たなビジネスチャンスづくりに努めた。 ・登別市新産業創造活動事業補助金、登別市起業化支援事業補助金など、新技術、新製品等の開発への支援、新たな事業化等への取組を支援した。 ・中小企業振興事業補助を推進するとともに、企業誘致活動を展開した。 ・低迷が続く雇用情勢に対処するため、国の「緊急地域雇用特別交付金」の有効な活用を図った。 	2,834	2,074
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域経済状況調査事業 ・ 中小企業振興事業助成事業 ・ 産業フェアイン登別開催支援事業 ・ 物産展参加補助事業 ・ 建設副産物のリサイクル商品開発事業 ・ 異業種交流団体による共同研究等への支援事業 ・ 札幌のぼりべつ交流プラザ事業 ・ 登別商工会議所会館改修補助事業 ・ 登別商工会議所青年部設立30周年記念補助事業 ・ 事業所内職業訓練助成事業 ・ 中小企業相談所事業補助事業 ・ 登別商工会議所事業推進職員設置補助事業 ・ 労働対策事業 ・ 労働振興事業助成事業 ・ 雇用対策救援事業 ・ 勤労者特別融資事業 ・ 企業誘致のための情報収集・発信事業 ・ 企業立地振興補助事業 ・ 登別市婦人センター外窓等補修事業 ・ 職業訓練センター屋根葺き替え事業 ・ 労働福祉センター補修事業 ・ 職業訓練センター運営事業 ・ 企業誘致・特定プロジェクト推進事業 ・ 98北海道技術ビジネス交流会助成事業 ・ 平成9年度商工会議所青年部北海道ブロック大会助成事業 <p>【追加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登別市・白老町生活関連産業事業化共同研究負担事業 ・ 産業クラスター形成計画推進事業 ・ ものづくり創出支援負担事業 ・ 登別市新産業創造活動補助事業 ・ 登別市起業化支援補助事業 ・ 高校生のための就職支援事業 ・ 北海道理容競技大会助成事業 ・ 失業者再就職・起業化促進事業 ・ 若年未就職者スキルアップ事業 ・ 新生活産業創出調査事業 ・ 創造的産業活動育成補助事業 ・ 日本商工会議所全国商工会議所青年部連合会第23回全国会長研修会補助事 		

<ul style="list-style-type: none"> ・地域中小企業経営者パソコン研修事業 <p>【未実施事業】 事由は別紙のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致のための基盤整備事業(道路整備)
--

第2節 世界が集い、世界が楽しむ北の観光拠点をつくる

(単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・登別温泉バイパスの整備促進、観光協会への支援、エアドゥへの出資、温泉供給、大湯沼活用事業、登別園地自然遊歩道補修事業など、観光振興に努めた。 ・観光客入込数の増加を図るため、観光協会との連携により、道内外の誘客活動や様々な集客キャンペーンを行った。 ・中国での単独セールスプロモーションを展開するなど、国外観光客の誘致に努めた。 ・中国広州市と観光を中心とした幅広い交流を行うため、登別市・広州市「友好交流促進都市」の盟約を締結するとともに、西胆振地区及び札幌市との広域的な取組による観光プロモーション活動を行った。 ・冬期観光の充実を図るため、カルルス温泉スキー場の整備を行った。 	837	2,020
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大湯沼利活用整備事業 ・観光開発基金積立事業 ・(社)登別観光協会運営助成事業 ・登別観光振興特別対策補助事業 ・国立公園清掃活動補助事業 ・観光関連アウトドア施設整備事業 ・カルルス・サン・スポーツランド運営管理事業 ・温泉供給施設維持管理事業 ・登別温泉ふれあいセンター整備事業 ・市営カルルス温泉スキー場運営管理事業 ・登別市・白老町観光連絡協議会負担事業 ・観光ホスピタリティ推進補助事業 ・国立公園内観光施設維持管理事業 ・観光情報発信(外国語版)事業 ・観光交流都市の調印事業 ・観光客誘致促進事業 ・友好交流促進都市推進事業 ・カルルス園地公衆トイレ維持管理事業 ・国立公園施設整備5カ年事業 ・登別温泉園地自然遊歩道補修事業 ・地域振興事業(鬼サミット・登別)補助事業 <p>【追加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登別フラワーファンタジーロード創出事業 ・オロフレ峠レストハウス解体事業 ・登別フラワーファンタジーロード維持管理事業 ・間欠泉活用調査事業 ・登別観光協会特別助成事業(衛生施設整備事業分) ・西いぶり・国際フォト・カルチャー展開催負担事業 ・北海道国際航空出資事業 ・遊歩道・風景林の維持向上事業 ・カルルス温泉スキー場再整備事業 ・旧温泉科学館利活用調査事業 ・株式会社北海道マリンパーク施設等取得関係事業 		

第3節 海と大地の恵みを力に変える

※実績額欄()の国・道の事業費は外数値

(単位:百万円)

実績	<p>・札内営農用水施設整備事業、農免農道整備事業、中山間地域活性化推進事業、畜産環境施設等整備事業、農業生産基盤の整備、札内・来馬地区活性化計画の策定、登別市特定農山村地域活動支援基金の活用など、農業振興に努めた。</p> <p>・札内高原館の整備・利用を図り、特色ある地場産品の開発に努めた。</p> <p>・登別漁港整備基本計画の策定、漁場改良事業、漁港整備の促進、小型漁船冷却装置設置補助の創設など、水産業の振興に努めた。</p> <p>・漁業協同組合組織緊急再編対策事業の実施など、地域水産物販路拡大や漁業経営の安定を図る漁業協同組合の合併を支援した。</p>	計画額	実績額
		1,497	1583 (国:2,020) (道:11,603)
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域等直接支払推進事業 ・ 農業経営基盤強化促進対策事業 ・ 農業振興特別補助事業 ・ 農業振興研究会補助事業 ・ 中山間地域等直接支払交付事業 ・ 伊達市農業協同組合女性部補助事業 ・ 登別地区農事組合補助事業 ・ 中山間地域総合整備事業 ・ 畜産振興事業 ・ 胆振西部乳牛検定組合補助事業 ・ 市牧場管理事業 ・ 受精卵移植推進協議会補助事業 ・ 酪農ヘルパー事業補助事業 ・ 道営草地整備改良事業 ・ 農畜産物加工研究補助事業 ・ 大家畜経営維持緊急特別対策事業利子補給事業 ・ 漁場改良事業(ヒトデ等駆除) ・ エゾバフンウニ種苗放流補助事業 ・ 登別漁港周辺整備基本計画の推進事業 ・ 漁業近代化資金利子補給事業 ・ 登別市漁業及び水産加工振興補助事業 ・ 農業情報システム整備(FAX導入)事業 ・ 農業用施設管理事業 ・ 道営土地改良整備事業 ・ 中札内地区緊急畑地帯総合整備事業 ・ 西札内地区農免農道整備事業(旧:来馬地区農免農道整備事業) ・ 来馬第1地区農免農道整備事業(第2期) ・ 釧山地区農道整備特別対策事業 ・ 中山間地域活性化推進事業 ・ 室蘭登別市酪農振興協議会補助事業 ・ 札内高原館の建設事業 ・ 札内地区(仮称)ファームタウン整備計画策定事業 ・ 21世紀高生産基盤整備促進特別対策事業(21世紀パワーアップ事業) ・ 大型魚礁設置事業 ・ 水産行政等経常事業 ・ 登別救難所運営補助事業 ・ 鷲別漁港整備事業 ・ 登別漁港整備事業 ・ 登別漁港周辺整備基本計画推進事業 ・ 漁港管理事業 ・ 登別漁港維持管理補助事業 ・ 鷲別漁港維持管理補助事業 ・ 鷲別漁港漁具保管修理施設整備事業 ・ 札内営農用水施設整備事業 ・ 札内営農用水施設整備事業(用地取得及び監督等補助業務) ・ 山村振興等農林漁業特別対策事業 ・ 西札内地区農免農道整備事業(用地取得及び監督等補助業務) ・ 中札内地区緊急畑地帯総合整備事業(用地取得及び監督等補助業務) ・ 農業振興地域整備促進事業 ・ 来馬第1地区農免農道整備事業(第1期) 			

- ・ 団体営公共牧場整備事業
 - ・ 畜産環境モデル集落整備事業
 - ・ 登別市家畜伝染病自衛防疫組合特定疾病発生予防助成事業(馬鼻肺炎)
 - ・ 広域型増殖場造成事業(タコ産卵礁)
 - ・ 回遊性大型海洋動物目視調査事業
 - ・ 第23回北海道地区総合訓練(救難技術研修)大会助成事業
 - ・ 登別川酸性水中和処理及び環境調査事業
 - ・ 中山間地域活性化推進事業(登別漁港周辺整備調査検討事業)
 - ・ 小型漁船冷却装置設置助成事業
- 【追加事業】
- ・ 特定農山村地域市町村活動支援事業(シカの農作物等食害対策事業)
 - ・ 特定農山村地域市町村活動支援事業(担い手農業者等支援事業)
 - ・ 特定農山村地域市町村活動支援事業(乳質改善事業)
 - ・ 特定農山村地域市町村活動支援事業(畜産加工体験事業)
 - ・ 特定農山村地域市町村活動支援事業(農地有効利用システム構築事業)
 - ・ 特定農山村地域市町村活動支援事業(地域特産品調査事業)
 - ・ 新規作物普及推進事業
 - ・ 農畜産物製造施設整備補助事業
 - ・ 畜産環境施設等整備事業(簡易堆肥化施設整備事業)
 - ・ 畜産環境施設等整備事業(資源リサイクル畜産環境整備事業)
 - ・ 畜産環境施設等整備事業(堆肥利用組合指導調整事業負担金)
 - ・ 畜産環境施設等整備事業(バイオマス利活用フロンティア推進事業)
 - ・ 登別救難所運営特別対策事業
 - ・ 釧山養魚池改修事業
 - ・ 漁業専門員配置補助事業
 - ・ いぶり中央漁業協同組合青年部・女性部合同研修補助事業
 - ・ 漁業衛生管理設備整備補助事業
 - ・ 先進漁港視察研修補助事業
 - ・ 漁業協同組合組織緊急再編対策事業
 - ・ (仮称)札内ファームタウン計画推進事業
 - ・ 自給飼料増産推進計画策定事業
 - ・ 札内高原館管理運営事業
 - ・ 活魚施設海水殺菌装置整備補助事業
 - ・ マリンネット北海道整備事業
 - ・ 鷲別漁港船揚場整備事業
 - ・ 鷲別漁港完成式典事業
 - ・ 市町村森林整備計画策定事業
- 【未実施事業】 事由は別紙のとおり。
- ・ 鷲別海岸・漁港環境整備事業(未実施:要検討)
- 【国の投下事業】
- ・ 農道事業
 - ・ 漁港事業
- 【北海道の投下事業】
- ・ 農道事業
 - ・ 海岸事業
 - ・ 漁港事業

第4節 高い技術力と製品開発力を備えた、活力ある工業をつくる

(単位:百万円)

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室蘭テクノセンターとの連携による研修会の開催、メディアを活用した地元製品の情報の発信、地元製品利用の促進、各種展示会への参加など、ソフト的な事業の支援に努めた。 	計画額	実績額
			0
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室蘭テクノセンターとの連携による研修会の開催 ・ メディアを活用した地元製品の情報の発信 ・ 地元製品利用の促進、各種展示会への参加 			

第5節 市民の生活文化を支え、にぎわいと楽しさに満ちた交流の場となる商業をつくる

(単位:百万円)

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街近代化積立て事業融資、商店街近代化事業を推進した。 ・幌別駅前広場の整備促進を図るとともに、関連する市道の整備など、中央町地区商店街近代化事業の推進に努めた。 ・中小企業特別融資制度について貸付限度額や融資利率の緩和を図るとともに、金融緊急対策信用保証料補給金制度など、中小企業の円滑な活動を支援した。 	計画額	実績額
		5,029	4,260
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登別市商店街近代化推進補助事業 ・ 商店街近代化融資積立事業 ・ 中小企業者事業資金利子補給事業 ・ 中小企業特別融資積立事業 ・ 金融緊急対策信用保証料補給事業 ・ 登別市住宅改良促進特別融資積立事業 ・ 商店街近代化事業 ・ 登別温泉地区商店街近代化推進事業 ・ 中央町地区街区整備事業(商店街近代化関連) ・ 商工業振興・経営安定化事業 ・ 中小企業振興審議会事業 ・ 登別観光振興特別対策補助事業 ・ 登別温泉町地区市街地総合再生基本計画策定事業 <p>【追加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度情報化推進事業(e-ビジネス構築支援研修) ・ 登別商工会議所組織強化補助事業 ・ 大湯沼高温集湯調査委託事業 <p>【未実施事業】 事由は別紙のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗活用事業 			

第4章 調和の中でふるさとを演出するまち

第1次～第3次 計画事業数 108件 追加事業数 40件 合計 148件 計画事業費 34,085百万円 (うち第3次分 12,969百万円) 実施事業費 35,969百万円 (うち第3次分 12,470百万円) 財源投下率 105.5% (第3次分 96.1%) 国の投下事業費 5,017百万円 北海道の投下事業費 27,465百万円
--

第1節 機能的な交通・情報ネットワークで活力とふれあいを運ぶ

※実績額欄()の国・道の事業費は外数値

(単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・登別温泉バイパスなど道道の整備促進を図るとともに、都市計画道路や市内幹線道路網の整備推進に努めた。 ・広報紙やまちづくりカタログの発行など、市政情報を積極的に提供するとともに、市民の声を市政に反映させるため、各種懇談会を開催し、広報広聴活動の充実に努めた。 ・住民基本台帳ネットワークや総合行政ネットワークなどの情報基盤整備や、議会のOA化推進、地域情報センターの運営、IT(情報通信技術)講習会の実施など、情報化の推進に努めた。 ・市役所内のLAN構築やパソコンの増設、WEBサーバの設置などの整備を行い、財務会計システムを導入するとともに、市ホームページによる情報発信の充実に努めた。 	24,116	24,618 (国:5,017) (道:27,465)
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道道倶多楽湖公園線登別温泉通改良受託事業 ・ 中央26号線歩道改良事業 ・ カルルス路線改良事業 ・ 富岸西路線改良事業 ・ 石山通り改良事業 ・ 東札内線改良事業 ・ 中央通り改良事業 ・ 市道舗装排水整備事業 ・ カルルス東雲線外1改良事業 ・ サト岡志別路線改良事業 ・ 温泉10号線改良事業 ・ 登別温泉中央通り改良事業 ・ 地方生活路線維持対策補助事業 ・ 鉱山地域住民タクシー事業 ・ 総合窓口の開設検討事業 ・ 情報通信技術講習会開催事業 ・ テレビ中継局バックアップシステム導入事業 ・ 広報等事業 ・ 行政情報化推進事業(財務会計システム導入事業) ・ 行政情報化推進事業(財務会計システム管理事業) ・ GIS基盤整備事業 ・ 住民基本台帳ネットワークシステム構築事業 ・ 議会情報化推進事業 ・ まちづくりカタログ発行事業 ・ 道道弁景幌別線北駅前通改良受託事業(中央町地区) ・ 道道弁景幌別線北駅前通道路改良受託事業(片倉町地区) ・ 円山通改良事業 ・ 環状通改良事業 ・ 北駅前通整備事業 ・ 市道用地確定調査測量事業(未処理用地) ・ 市道用地確定測量調査事業 ・ 市道用地買収事業(管理課) ・ 富岸西橋新設事業 ・ カルルス路線舗装事業 ・ 富岸西路線改良事業 		

- ・ 中央通り外1改良事業
- ・ 温泉3号線改良事業
- ・ 温泉5号線外1改良事業
- ・ 市道舗装排水整備事業
- ・ 橋梁維持補修事業
- ・ 富岸7号橋新設事業
- ・ 公共交通機関の利用促進事業
- ・ 幌別テレビ中継局放送装置更新事業
- ・ 広報ビデオお知らせ版製作事業
- ・ 市施設ビデオ機器等設置事業
- ・ 住民記録端末機等借換え事業
- ・ 電子計算機業務関連事業
- ・ 偽造防止用紙及び電子印の導入事業
- ・ テレビジョン中継局維持事業
- ・ 戸籍住民基本台帳事務事業
- ・ 農業委員会活動整備促進事業(農地情報管理システム整備事業)
- ・ マイロード事業完成記念イベント事業
- ・ 道道洞爺湖登別線道路改良受託事業
- ・ 鷲別南通調査委託事業
- ・ 温泉3号線橋梁新設事業
- ・ 富岸学園通り3号線橋梁新設事業(富岸8号橋新設事業)
- ・ 温泉12号線改良事業
- ・ 市道用地買収事業(経済振興室)
- ・ テレビ北海道幌別サテライト局新設事業
- ・ ニューメディアを活用した情報化推進事業
- ・ 地域情報化に関する調査及び基本方針策定事業
- ・ 地域情報番組放送参加事業
- ・ 市民便利帳作成事業
- ・ 写真情報デジタル化事業
- ・ 幌別TV局鉄塔塗装事業

【追加事業】

- ・ 道道上登別室蘭線柏木通改良受託事業
- ・ 道道上登別室蘭線中央通改良受託事業
- ・ 登別6号線改良事業
- ・ 幌別22号線改良事業
- ・ 温泉7号線改良事業
- ・ 富岸2号線外1改良事業
- ・ 登別27号線改良事業
- ・ 新川50号線外1改良事業
- ・ コミュニティバス実証運行事業
- ・ 総合行政ネットワーク(LGWAN)整備事業
- ・ 公的個人認証サービス導入事業
- ・ まち紹介パンフレット作成事業
- ・ 広報紙取材業務一部委託事業
- ・ 北海道電子自治体プラットフォーム共同構築事業
- ・ 財務会計システムの更新事業
- ・ 東通道路改良事業
- ・ 市道用地買収事業(商店街近代化)
- ・ 千歳10号線改良事業
- ・ 地域イントラネット基盤整備事業
- ・ ホームページによる情報発信事業
- ・ 行政情報化推進事業(ネットワーク構築事業)
- ・ 森林GIS整備事業
- ・ OA化推進事業
- ・ 登別温泉小中学校ネットワーク構築事業
- ・ (仮称)地域情報センター維持管理事業
- ・ 広報ビデオ制作用ビデオ機器購入事業
- ・ 3市電子計算機組織にかかるデータのバックアップ相互保管事業
- ・ 土木積算システム導入事業

【未実施事業】 事由は別紙のとおり。

- ・ 登別駅前広場整備事業(未実施:要検討)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸籍電算化システム導入事業(未実施:実施時期変更) <p>【国の投下事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路事業 <p>【北海道の投下事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路事業 ・ 街路事業

第2節 快適さとやすらぎと自然に満ちた空間で暮らしを包む

(単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<p>・市民参画によるまちづくりを目指し、「都市計画マスタープラン」「みどりの基本計画」「景観形成基本計画」で構成する「登別市まちづくりアクションプラン」を策定した。</p> <p>・道営新川団地等道営住宅の整備促進、登別温泉団地等市営住宅の建設、桜木団地、幌別東団地の建替、住宅マスタープランの策定、市営住宅ストック総合活用計画の策定など、公営住宅の整備・活用を進めるとともに、集会所・児童遊園、駐車場の整備を行い、住宅地景観の形成による住環境の向上を図った。</p> <p>・安全で安定した給水を確保するため、上水道給水ブロック化事業の推進、石綿管の改良、登別温泉高区配水池・柏木配水池の建設など、上水道施設整備を推進するとともに、簡易水道においては、道路改良事業に併せ導水管の移設改良を実施した。</p> <p>・美園公園、富岸公園、らいば公園を新設するとともに、しおみ公園、のぞみ公園、めばえ公園、川上公園多目的広場、登別東町運動広場、桜木公園の整備、亀田記念公園の整備、榆の木公園便所建替、若草公園便所建替など、公園機能を充実するための整備に努めた。</p>	9,969	11,352
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登別市まちづくりアクションプラン策定事業 ・ 若山地区土地区画整理事業(関連調査) ・ 地籍調査事業 ・ 市営住宅(桜木団地)共同施設建設事業(集会所、児童遊園) ・ 登別東町団地建設事業 ・ 市営住宅(柏木団地)景観改善事業 ・ 市営住宅(幌別東団地)建替に伴う除却事業 ・ 市営住宅(幌別東団地)建替事業 ・ 市営住宅(幌別東団地)駐車場整備事業 ・ 市営住宅(幌別東団地)建替事業(道路) ・ 市営住宅(幌別東団地)建替に伴う移転助成事業 ・ 市営住宅(幌別東団地)建替事業(受水槽) ・ 公営住宅改善事業(高齢者・障害者施策事業) ・ 市営住宅(桜木団地)駐車場整備事業 ・ 市営住宅(桜木団地)建替事業 ・ 市営住宅(桜木団地)特定事業 ・ 送配水施設整備事業 ・ 簡易水道導水管改良事業 ・ 亀田記念公園整備事業 ・ 公園再整備事業 ・ 川上公園多目的広場補修事業 ・ 登別市街区公園等清掃交付事業 ・ 家屋表示板設置事業 ・ 都市計画図作成事業 ・ 公営住宅管理営繕車輛購入事業 ・ 公営住宅電算管理システム事業 ・ 道営住宅新川団地建設用地先行取得事業 ・ 市営住宅環境改善(下水道接続)事業 ・ 既設市営住宅計画修繕事業(景観) ・ 鉢山地区飲料水供給事業 ・ ふれあい緑地新設事業 ・ 住宅マスタープラン策定事業 ・ 既設公営住宅団地高齢化対応改善事業 ・ 市営住宅テレビチャンネル<追加事業> ・ 幌別東団地環境・景観及び駐車場整備事業 ・ 市営住宅(登別温泉団地)建替事業 ・ 道営住宅(仮称 新川団地)建設用地先行取得事業 ・ 美園公園新設事業 		

- ・ 富岸公園新設事業

【追加事業】

- ・ 市営住宅(新生団地・柏木団地)整備事業
- ・ 上水道仕切弁情報調査事業
- ・ 道営住宅登別東町団地建設用地取得事業
- ・ 道営住宅登別東町団地建設の伴う環境改善事業
- ・ 市営住宅(桜木団地)建設に伴う移転助成事業
- ・ 第2次登別市公共賃貸住宅再生事業(公営住宅再生マスタープラン)
- ・ 公園美化整備事業
- ・ 登別東町運動広場整備事業
- ・ 登別市景観形成基本計画書作成事業
- ・ 中央通り歩道整備事業
- ・ 登別温泉地区まちづくり推進協議会運営補助事業
- ・ 民間の宅地開発事業

【未実施事業】 事由は別紙のとおり。

- ・ 環境整備事業(幌別東団地)(未実施:要検討)
- ・ 住戸内改善整備事業(柏木団地・幌別東団地)(未実施:要検討)

第5章 豊かな個性と人間性を育むまち

第1次～第3次 計画事業数 175件 追加事業数 56件 合計 231件
計画事業費 7,542百万円 (うち第3次分 3,423百万円)
実施事業費 7,410百万円 (うち第3次分 3,486百万円)
財源投下率 98.3% (第3次分 101.8%)

第1節 生涯を通じて学ぶ心を育み、学ぶ環境を整えて生涯学習社会の実現をめざす (単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<p>・「生涯学習まなびフェスティバル」の開催や「生涯学習ニュース」を発行し、市民への生涯学習の普及啓発に努めるとともに、生涯学習基金の積立て、ふるさと学習推進事業、市民生涯学習推進講座(ときめき大学、婦人短期大学、家庭教育学級事業など)を推進し、学習機会の提供に努めた。</p> <p>・「生涯学習推進基本構想」を策定し、生涯学習推進に関わる取組、各種施策を展開した。</p>	83	76
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生涯学習推進講座開催事業(ときめき大学) ・市民生涯学習推進講座開催事業(婦人短期大学) ・市民生涯学習推進講座開催事業(家庭教育学級) ・生涯学習推進事業 ・社会教育一般・生涯学習振興基金積立事業 ・市民生涯教育推進講座(青少年健全育成環境浄化PTA活動経費)事業 ・ふるさと学習推進事業 ・教育委員会情報化推進事業 ・胆振管内市町村生涯学習フェスティバル補助事業 <p>【追加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習・まなびフェスティバル開催事業 		

第2節 一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな心を育てる (単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<p>・幼保一元化を推進するため、民間事業者が行う施設整備への支援を行った。</p> <p>・放送設備の更新、プールの整備、屋内運動場暖房機設置、家庭科教室の改造、暖房施設の改修、校舎・屋内運動場の大規模改造、周辺整備事業や、教育施設の水洗化、学校給食センター設備改善など、各学校施設や設備等の改善・整備を推進した。</p> <p>・新学習指導要領に新設された「総合的な学習時間」が円滑に推進されるよう積極的に支援を行った。</p> <p>・多様な教育環境に対応するため、スクールカウンセラーの配置、スタディちゃんの家設置推進、入浴体験学習の推進、外国青年招致事業、小学校・中学校へのコンピュータ導入、学校週5日制学校開放事業、子ども地域交流プラザの実施、不登校・いじめ等対策など、心の教育や体験を重視した教育活動に努めた。</p> <p>・障害を持つ児童生徒の個々の状況や特性に応じるため、言語治療教室の運営を支援するとともに、特殊教育学級を新設するなど、教育環境の整備に努めた。</p> <p>・中等教育環境整備事業など、道立中等教育学校建設への支援を行った。</p>	3,773	4,130
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な幼児教育振興事業 ・教育実践研究奨励事業(幼稚園) ・私立幼稚園就園奨励費補助事業 ・私立幼稚園特別就園奨励費補助事業 ・私立幼稚園協会教職員研修費補助事業 ・私立幼稚園教材教具整備補助事業 ・第45回北海道私立専修学校各種学校教育研修大会助成事業 ・教育指導研究奨励事業 ・登別市教育研究会運営補助事業 ・教育実践研究奨励事業 ・不登校・いじめ対策事業 ・小学校体育連盟助成事業 ・中学校体育連盟助成事業 ・PTA連合会助成事業 ・スクールカウンセラー活動事業 ・心の教室相談員活動事業 ・特色ある学校づくり推進事業 		

- ・ スクールバス運行事業
- ・ 学校いきいきプラン事業(緊急地域雇用対策事業)
- ・ 小学校水泳授業
- ・ 総合的な学習活動研究推進事業
- ・ 外国青年招致事業
- ・ 少年の主張大会開催事業
- ・ 「子ども地域交流プラザ」実施事業
- ・ 自然体験学習推進事業
- ・ 小中学校情報教育推進事業
- ・ 小中学校校舎等改修事業
- ・ 小中学校受水槽内部改修事業
- ・ 教材等備品購入事業
- ・ 小中学校放送設備更新事業
- ・ 若草小学校大規模改造事業
- ・ 小中学校周辺整備事業
- ・ 小学校プール整備事業
- ・ 小中学校暖房設備改修事業
- ・ 教育施設水洗化整備事業
- ・ 学校給食センター施設整備事業
- ・ 北海道言語障害児研究大会苫小牧大会及び全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会北海道大会助成事業
- ・ 登別市特殊教育振興協議会交流学习補助事業
- ・ 特殊教育就学奨励事業(小学校)
- ・ 特殊教育就学奨励事業(中学校)
- ・ 特殊教育学級整備事業
- ・ 言語治療教室運営事業
- ・ 登別高等学校定時制課程教育振興会補助事業
- ・ 私立高等学校振興費補助事業
- ・ 登別市校長会運営補助事業
- ・ 児童生徒遠距離通学費補助事業
- ・ 学校環境整備用機器購入事業(刈払機・除雪機)
- ・ 小学校遊具設備更新事業
- ・ 学校教育振興、要・準要保護児童援助事業
- ・ 中学校放送設備更新事業
- ・ 学校教育振興、要・準要保護生徒援助事業
- ・ 登別市教育研究会研修視察運営補助事業
- ・ 胆振僻地複式教育連盟登別支部運営補助事業
- ・ 小学校教育用コンピュータ導入整備計画事業
- ・ 教育用コンピュータ導入・整備事業
- ・ 中学校教育用コンピュータ更新整備計画事業
- ・ 学校週5日制実施事業
- ・ 西陵中学校校舎大規模改造事業
- ・ 心の教室整備事業
- ・ 教職員住宅整備事業
- ・ 小中学校屋根・外壁改修事業
- ・ 登別温泉小学校校舎・屋体補修事業
- ・ 若草小学校屋内運動場(若草ドーム)解体事業
- ・ ダイオキシン対策事業(小学校)
- ・ 小学校教育の推進事業
- ・ ダイオキシン対策事業(中学校)
- ・ 中学校教育の推進事業
- ・ 学校給食センター調理用釜取替事業
- ・ 学校給食センター調理場窓取付事業
- ・ 登別市就学指導委員会事業
- ・ 日本工学院北海道専門学校への広報支援事業
- ・ 小中学校刈払機整備事業
- ・ 小中学校除雪機整備事業
- ・ 登別市中学校体育連盟遠征費助成事業
- ・ 開校50周年記念補助事業
- ・ 小学校教育課程研究推進補助事業
- ・ 第31回全道教頭会研究大会室蘭大会負担事業
- ・ 第46回北海道学校保健研究大会室蘭大会負担事業

- ・第47回北海道公立小中学校事務研究大会「東北・北海道」胆振大会負担事業
- ・第49回北海道放送教育研究大会胆振大会負担事業
- ・ワイヤレス受信設備備品整備事業
- ・小学校営繕事業
- ・中学校営繕事業
- ・小学校用地整備事業
- ・高圧受電設備地絡遮断装置設置事業
- ・小中学校屋内運動場暖房設備設置事業
- ・西陵中学校屋内運動場大規模改造事業
- ・西陵中学校校舎大規模改造事業
- ・学校給食センター食缶消毒保管庫設置事業
- ・学校給食センター食缶洗浄器取替事業
- ・西陵中学校・特殊教育学級新設事業

【追加事業】

- ・幼保一元化施設整備費補助事業
- ・第32回北海道私立幼稚園PTA連合会全道大会助成事業
- ・開かれた学校づくり推進事業
- ・中等教育環境整備事業
- ・学力向上対策事業
- ・子どもと親の相談員活用事業
- ・第36回北海道中学校バトミントン大会補助事業
- ・特別活動推進事業(小学校)
- ・特別活動推進事業(中学校)
- ・情報教育共同研究事業
- ・邦楽になれ親しむモデル事業
- ・学校図書館わくわく事業
- ・全国情緒障害研究大会補助事業
- ・登別温泉中学校閉校記念事業
- ・特別支援教育推進事業(小学校)
- ・特別支援教育推進事業(中学校)
- ・北海道私立幼稚園教育研究大会補助事業
- ・私立幼稚園備品整備補助事業
- ・幌別西小学校開校50周年記念補助事業
- ・コンピュータ教育研究推進事業
- ・幌別小学校駐車場整備事業
- ・学校給食センター給食用食器取替事業
- ・学校給食センター食器自動供給装置設置事業
- ・学校給食センター自動食器浸漬装置設置事業
- ・学校給食センター床及び排水改修事業
- ・牛乳保冷库購入事業
- ・特殊教育学級新設事業(幌別小、鷺別小、青葉小)
- ・北海道高等学校PTA連合会第51回総会大会助成事業
- ・学校給食センターエアカーテン取付事業
- ・西陵中学校校舎屋上防水補修事業
- ・学校給食センター設備改善事業
- ・学校給食センター排水及び床面改修事業
- ・旧札内小中学校改修事業

第3節 いきいきとした学習の機会と場をつくる

(単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ボランティア等活用実践研究受託事業 ・成人祭開催事業 ・登別市子ども地域交流プラザ補助事業 ・青年国内派遣研修助成事業 ・青少年健全育成講演会開催事業 ・ボーイスカウト北海道連盟登別第一団運営補助事業 		

<ul style="list-style-type: none"> ・ 室蘭・登別少年を守る会運営費補助事業 ・ 子ども会活動振興助成事業 ・ 公民館事業 ・ 青少年育成指導事業(青少年補導センター機動力整備事業) ・ 青少年育成指導事業 ・ ボーイスカウト各種大会の参加等助成事業 ・ 婦人研修の家屋根及び外壁補修事業(柏木婦人研修の家) ・ 婦人研修の家管理事業 ・ 公民館整備事業 ・ 市民研修センター運営管理事業 ・ 97ボーイスカウト北海道大会参加助成事業 ・ 97ボーイスカウト北海道大会補助事業 ・ 婦人研修の家運営助成事業 ・ 温泉公民館改修事業 ・ 登別市青少年会館2階研修室窓枠取替え事業 ・ 登別市青少年会館階段・廊下タイル張替え事業 ・ 婦人研修の家改修事業 ・ 青少年会館、図書館電気改修事業 <p>【追加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボーイスカウト北海道大会参加補助事業 ・ 若草婦人研修の家水洗化事業 ・ 学習活動支援設備整備事業 ・ 補導業務機動力整備事業 ・ 鷺別公民館フェンス補修事業 ・ 鷺別公民館窓取替事業 ・ 登別温泉公民館ルーフヒーター取替事業 ・ 婦人研修の家屋根葺替事業
--

第4節 個性豊かなふるさとの文化をつくる

(単位:百万円)

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民文化祭や文化大集会の開催、市内小中学校合同芸術祭の開催、3市合同講演会の開催など、各種文化団体や市民サークルが取り組む様々な文化活動の支援に努めた。 ・ 優れた芸術にふれる機会の提供と文化活動を育む環境づくりを促進するため、文化スポーツ振興財団への支援及び連携した文化スポーツ事業を推進した。 ・ 市民会館大ホールの大規模改修など、文化的施設の整備に努めた。 	253	357
<p>【計画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登別市文化振興助成事業 ・ 児童・生徒文化振興助成事業 ・ 市民会館設備・備品整備事業 ・ 財団法人登別市文化・スポーツ振興財団補助事業 ・ 三市合同文化負担事業 ・ 文化振興基本計画策定事業 ・ 郷土資料館資料編纂事業 ・ 知里幸恵生誕100年記念プレ補助事業 ・ 文化財保護事業 ・ 知里幸恵生誕100年記念事業 ・ 市民会館大ホール大規模改修事業 ・ 文化振興事業(小学校合同芸術祭・中学校音楽祭開催事業) ・ 郷土資料館の補修 ・ (財)登別市文化・スポーツ振興財団運営補助事業 ・ 市民会館展示用パネル購入事業 ・ 市民会館営繕事業 ・ 文化振興事業(札幌出捐金) <p>【追加事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ助成補助事業 ・ 知里幸恵フォーラム'04補助事業 ・ 知里幸恵イベント補助事業 ・ 新日本フィルハーモニーオーケストラ公演助成事業 ・ 郷土資料館温風暖房機設置事業 		

第5節 スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす

(単位:百万円)

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・胆振管内スポーツフェスタへの参加、スポーツ少年団の育成、体育協会への支援、体育指導員の育成、学校開放事業の推進などを行うとともに、岡志別の森運動公園の建設、新市民プールの建設などの施設整備を進め、スポーツの振興に努めた。 ・各種スポーツ大会を開催するなど、市民が気軽にスポーツを楽しむことのできる機会の充実を図るとともに、競技団体と連携して各種大会の招へいに努めた。 	計画額	実績額
		2,723	2,327
【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿支援事業 ・胆振管内スポーツフェスタ参加助成事業 ・胆振管内スポーツフェスタ参加事業 ・スポーツ振興計画策定事業 ・登別市体育協会助成事業 ・登別市スポーツ少年団育成助成事業 ・三市スポーツ大会事業 ・児童生徒スポーツ振興助成事業 ・第54回北海道中学校軟式野球大会補助事業 ・体育指導委員会事業 ・総合体育館整備事業 ・新市民プール建設事業 ・学校開放事業 ・陸上競技場整備事業 ・北海道クロスカントリーレース助成事業 ・富岸青少年会館整備事業 ・野球場オープン記念大会運営費補助事業 ・第18回東日本軟式野球大会運営費補助事業 ・市営プール修理事業 ・市民プール外壁改修事業 ・総合体育館1・2階踊り場窓枠ガラス修繕事業 ・総合体育館高圧受電設備改修事業 ・総合体育館アリーナ床表面ウレタン樹脂塗装事業 ・総合体育館ボイラー室改修事業 ・陸上競技場グラウンド整備工事及び本部席建設事業 【追加事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・新市民プールオープン記念事業 ・市民プール解体事業 ・青少年会館改修事業 ・市民プールバスパック業務委託事業 ・天皇賜杯第55回全日本軟式野球大会北海道大会助成事業 ・高円宮賜杯第20回全日本学童軟式野球大会北海道大会助成事業 ・第46回北海道高等学校剣道選手権大会兼第47回全国高等学校剣道選手権大会北海道予選会助成事業 ・全国マリンスポーツフェア体験教室補助事業 ・新市民プール建設(事業調査費) ・陸上競技場便所・駐車場整備事業 			

第6節 生涯学習を支える図書館機能を高める

(単位:百万円)

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館蔵書の充実、北海道立図書館ネットワークシステムの導入、市内図書館ネットワークの構築など、図書館活動の充実に努めた。 ・貸出し、返却等について迅速な対応を図るため、図書館システムを構築した。 ・児童室だよりの発行、幼児を対象とした絵本の読み聞かせ、幼稚園児の読書感想画募集、図書館ホームページの充実など、図書館の持つ機能の拡充に努めた。 ・老朽化した移動図書館車の更新を行い、移動図書館活動の充実に努めた。 ・新図書館建設に向けて「新図書館構想21人委員会」を設置した。 	計画額	実績額
		507	271
【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料充実事業 ・新図書館建設基金積立事業 ・図書館雨漏改修事業 ・図書館活動運営管理事業 ・蔵書データ入力事業 ・移動図書館車更新事業 ・北海道立図書館情報ネットワークシステム構築事業 			

【追加事業】

- ・ 図書館業務電算化事業

第6章 担いあうまちづくり

第1次～第3次 計画事業数 29件 追加事業数 6件 合計 35件 計画事業費 568百万円（うち第3次分 211百万円） 実施事業費 520百万円（うち第3次分 186百万円） 財源投下率 91.6%（第3次分 88.2%）
--

第1節 担いあうまちづくり

（単位：百万円）

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・豊水祭りなど、地域で展開されるイベントの支援、町内会活動への支援、富浦会館等地域コミュニティ施設の整備、市民憲章の普及啓発活動の展開など、自主的・主体的なまちづくり活動を助長した。 ・地域経済の活性化イベントや生産者との交流イベント支援を行うなど、多彩な地域活動の推進に努めた。 ・市民が主体となり、市制施行30周年と西暦2000年の記念事業を実施できるよう支援した。 	439	411
【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本青年会議所北海道地区協議会第51回北海道地区大会助成事業 ・鬼童話の作成・紙芝居コンテスト事業 ・鬼っ子サミット開催事業 ・いきいき推進補助事業 ・登別市商業活性化イベント補助事業 ・農業まつり運営費補助事業 ・登別漁港まつり補助事業 ・登別市連合町内会助成事業 ・町内会運営費助成事業 ・登別市民憲章推進協議会助成事業 ・西暦2000年、市制30周年記念事業 ・たばこ販売促進補助事業 ・登別市たばこ販売協議会助成事業 ・登別市納税貯蓄組合連合会助成事業 ・住民福祉・町内会役員等研修事業 ・富浦生活館営繕事業 ・富士会館・富浦会館営繕事業 ・市民憲章普及促進事業（制定30周年記念） 【追加事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・のぼりべつ・クリーン＆フレッシュ事業 ・市制施行30周年記念式典事業 ・鬼を活用したまちづくり補助事業 【未実施事業】 事由は別紙のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・CIロゴ、マーク等作成事業（未実施：事業方針変更） 		

第2節 交流ネットワークの形成

（単位：百万円）

実績	計画額	実績額
<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流を推進するとともに、札幌ののぼりべつ会や東京登別げんきかいとの交流事業を推進し、外部からの有効な情報の収集に努めた。 ・人的ネットワークによる市のPR活動を進めるため、登別ふるさと大使を任命した。 ・国際的な視野を持った人材の育成と異なった文化への理解を深めるため、中学生の海外派遣研修や自治体職員協力交流事業などを実施した。 	129	110
【計画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・登別・白石姉妹都市交流推進協議会助成事業 ・姉妹都市小中学校交流事業 ・姉妹都市小中学校交流補助事業 ・姉妹都市スポーツ交流助成事業 ・東京登別げんきかい交流事業 ・登別市ふるさと大使事業 ・札幌ののぼりべつ会交流事業 ・中学生海外派遣事業 ・自治体職員協力交流事業 ・国際交流推進事業 【追加事業】		

- ・ 姉妹都市伝統文化交流事業「こけし絵づけ教室」
- ・ 登別・白石姉妹都市提携20周年記念助成事業
- ・ 東京登別げんきかい10周年記念事業

(3) 未実施事業一覧

No	章節	事業名	未実施の事由
1	第1章 第1節	総合福祉情報システム開発事業	保健福祉部の福祉情報を総合的に管理し、担当相互で利用するためのシステム開発を検討したが、多額の経費を必要とすることから実施しないこととした。
2	第1章 第2節	認知症グループホーム運営事業	認知症グループホームは、平成12年度に導入された介護保険事業の対象となり、市内では2施設が民間により整備されたため、市として実施する必要がなくなった。
3	第2章 第2節	ペット霊園造成事業	民間に委ねることとした。
4	第2章 第3節	化学消防ポンプ自動車購入事業	平成17年度に主ポンプ及び薬液混合機装置等の分解整備を実施したため、更新時期を延長した。
5	第2章 第3節	東町34号線歩道整備事業	同地区は、下水道整備が予定されているため、その時期に併せて実施する。
6	第2章 第3節	消防大学校派遣事業	予防業務の専門教育を目的に消防大学校への養成計画をしましたが、財政等の理由により未実施となった。
7	第2章 第3節	消防庁舎・防災センター新設事業(実施設計)	財政状況により、事業の推進が困難なことから、当分の間延期する。
8	第2章 第3節	大型水槽車購入事業	高速自動車道及び林野等の火災に対応する消防車両であり、消防庁舎・防災センター新設に併せて購入を図る。
9	第3章 第1節	企業誘致のための基盤整備事業(道路整備)	新規の企業誘致が無かったため、未実施となっている。
10	第3章 第3節	鷺別海岸・漁港環境整備事業	漁港環境整備事業の採択を受けるため、現在区域変更の手続きを行っている。
11	第3章 第5節	空き店舗活用事業	登別温泉地区において、当事業を計画したが建物所有者との調整がつかず未実施となった。
12	第4章 第1節	登別駅前広場整備事業	第3次実施計画策定時において、事業主体である北海道は、平成16年度事業着手予定としていたが、他事業の進捗状況などの関係から、まだ未実施の状況である。
13	第4章 第1節	戸籍電算化システム導入事業	平成18年度以降に導入を検討。
14	第4章 第2節	環境整備事業(幌別東団地)	財源確保や管理体制等について、現在検討中。
15	第4章 第2節	住戸内改善整備事業(柏木団地・幌別東団地)	実施時期や確保すべき整備水準について、現在検討中。
16	第6章 第1節	CIロゴ、マーク等作成事業	CIロゴ、マークの作成は、市民自らの思いを表現できるものとするため、市民の気運の盛り上がりをもって進めることとして、その推移を見守ることとした。